

## V 岡山大学大学院教育学研究科における修士課程の研究指導 及び学位審査に関する要項

(趣旨)

第1条 この要項は、岡山大学大学院教育学研究科（以下「研究科」という。）の修士課程の学位の授与に関し、岡山大学学位規則（平成16年岡大規程第1号）及び岡山大学大学院教育学研究科規程（平成16年岡大院教規程第1号）に定めのあるもののほか、必要な事項を定めるものである。

(指導教員)

第2条 指導教員は、研究科教育科学専攻の専任教員のうち、教授又は研究科教授会において研究指導担当者として認められた准教授（以下「研究指導担当准教授」という。）とする。

(副指導教員)

第3条 指導教員に協力して指導をするため、学生ごとに指導教員と異なる講座の教員を含む2名以上の副指導教員を定める。なお、研究科教員が専任となる専攻及び所属する講座については、研究科学生便覧の教員名簿に示す。

2 副指導教員は、研究科教育科学専攻の専任教員のうち、教授、准教授、講師又は助教とする。ただし、指導教員が必要であると認める場合は、研究科教職実践専攻の教授、准教授、講師又は助教を副指導教員とすることができる。

(指導の方法)

第4条 研究指導を充実させるために、学位論文の研究内容に関する中間発表会を原則として行うものとする。

(学位論文の提出)

第5条 学位論文の審査を受けようとする者は、学位申請書に学位論文を添え、指導教員を経て、研究科長に提出するものとする。

(審査委員会)

第6条 学位論文の審査及び最終試験を行うため、学生ごとに審査委員会を置く。

2 審査委員会は、主査及び2名以上の副査の審査委員をもって組織する。

3 主査は、原則として、指導教員をもって充てるものとする。

4 主査が研究指導担当准教授の場合にあっては、副査に1名以上の教授を含めるものとする。

5 副査のうち、少なくとも1名が研究科の専任教員である場合には、本学の他研究科等の教員を副査として加えることができる。

(審査基準)

第7条 審査委員会は、別に定める学位論文の審査基準に基づき、総合的に学位論文を評価するものとする。

2 審査委員会は、評価の客観性及び厳格性を確保するため、学生に対してその基準をあらかじめ明示する。

(最終試験)

第8条 学位論文の発表会（口頭発表）等による最終試験の実施細目は、研究科教育科学専攻において定めるものとする。

2 発表会等は、原則として公開するものとし、日時、場所は、審査委員会ごとに公表する。

(審査結果及び最終試験の報告)

第9条 審査委員会は、学位論文の審査及び最終試験の結果に基づいて、学位論文審査・最終試験報告書を作成し、研究科長に報告するものとする。

2 最終試験の成績の評価は、合否をもって示す。

(雑則)

第10条 この要項に定めるもののほか、必要な事項は、研究科教授会の議を経て研究科長が別に定める。

附 則

この要項は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要項は、平成21年6月18日から施行し、平成21年4月1日から適用する。

附 則

- 1 この要項は、平成23年4月1日から施行する。
- 2 平成22年度以前の入学者については、改正後の岡山大学大学院教育学研究科における修士の研究指導及び学位審査に関する要項の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

附 則

この要項は、平成26年7月24日から施行し、平成26年4月1日から適用する。

附 則

- 1 この要項は、平成30年4月1日から施行する。
- 2 平成29年度以前の入学者については、改正後の岡山大学大学院教育学研究科における修士の研究指導及び学位審査に関する要項の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

## 岡山大学大学院教育学研究科（修士課程）学位論文の審査基準

平成26年7月23日 研究科教授会承認

平成30年1月17日 研究科運営委員会改正

岡山大学大学院教育学研究科修士課程における学位論文の審査は、以下の審査基準に基づき厳正に実施する。

なお、必要に応じ、審査委員会ごとで、教育研究分野の特性を考慮した適正な審査項目を追加できるものとする。

- (1) 研究の目的が適切に設定されているか
- (2) 研究の方法は当該学問分野において妥当であるか
- (3) 研究資料やデータの収集と分析が適切になされているか
- (4) 結論に至る過程が論理的であるか
- (5) 学術論文として表現や形式が適切であるか
- (6) 研究に独自性を含む内容があるか
- (7) 研究成果が学術的意義や社会的・教育的な意義をもつか
- (8) 関連する法律や研究倫理が遵守されているか

附 則

この基準は平成26年7月24日より施行し、平成26年4月1日から適用する。

附 則

- 1 この基準は平成30年4月1日より施行する。
- 2 平成29年度以前の入学者については、改正後の本基準の規定にかかわらず、なお、従前の例による。

## VI 岡山大学大学院教育学研究科長期履修に関する取扱い内規

(趣旨)

第1条 この内規は、岡山大学大学院教育学研究科規程（平成16年岡大院教規程第1号）第12条第2項の規定に基づき、標準修業年限を超えて一定の期間にわたる計画的な教育課程の履修（以下「長期履修」という。）に関する取扱いについて、必要な事項を定める。

(申請資格)

第2条 長期履修を申請することができる者は、次の各号に掲げる要件を満たす者とする。

- 一 本研究科に入学する者又は入学後1年未満の者
- 二 勤務（臨時雇用・非常勤雇用を含む）、育児、介護等の事情により、フルタイム学生として標準修業年限では本研究科の教育課程の履修が困難な者

(長期履修の履修コース及び最長在学年限)

第3条 長期履修の期間は、3年又は4年とし、3年履修コース又は4年履修コースと呼ぶものとする。

- 2 最長在学年限は、岡山大学大学院学則（平成16年岡大規則第3号）第1条第2項及び第3条の3第2項に規定する年限とする。

(申請手続)

第4条 長期履修コースの申請手続は、本研究科に入学する者にあつては入学手続期間までに、入学後1年未満の者にあつては入学年度の2月末日までに、長期履修申請書（所定様式）を研究科長に提出するものとする。

(長期履修の履修コース変更)

第5条 長期履修の履修コース変更は、1回限りとし、原則として1年次の2月末日までに履修期間変更願（所定様式）を研究科長に提出するものとする。

(標準修業年限履修コースへの変更)

第6条 標準修業年限（2年）履修コースへの変更申請は、原則として1年次の2月末日までに履修期間変更願（所定様式）を研究科長に提出するものとする。

(審査及び許可)

第7条 第4条から第6条までの申請に係る審査は、教務委員会において行い、研究科教授会の議を経て、研究科長が許可する。

(授業履修の指導)

第8条 指導教員は学生の長期履修期間に応じて授業履修が計画的に行われるよう必要な指導を行うものとする。

(その他)

第9条 この内規の実施に関し、必要な事項は、別に定める。

附 則

この内規は、平成16年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この内規は、平成23年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この内規は、平成29年12月20日から施行する。
- 2 平成29年度以前の入学者については、改正後の本内規にかかわらず、なお、従前の例による。

附 則

この内規は、令和元年12月18日から施行し、平成31年4月1日から適用する。

## Ⅶ 大学院設置基準第14条を適用する修士課程学生 に係る履修方法の特例に関する申合せ

平成30年2月28日 教育学部・教育学研究科教授会承認

(趣旨)

- 1 この内規は、岡山大学大学院教育学研究科規程（平成16年岡大院教規程第1号）（以下「規程」という。）第11条第3項に規定する履修方法の取扱いについて、必要な事項を定める。

(申請資格)

- 2 指導教員が大学院設置基準第14条による修学を認めた学生のうち、規程別表2(2)－1で示す標準履修基準単位数による修了が困難である適正な事由を有する者とする。

(申請手続)

- 3 規程別表2(2)－2で示す履修基準単位数の履修を希望する学生は、1年次の4月末までに申請書（所定様式）を研究科長に提出するものとする。

(審査及び許可)

- 4 前項の審査は、教務委員会において行い、研究科教授会の議を経て、研究科長が許可する。

(履修方法の変更)

- 5 修学途中において、大学院設置基準第14条によらず、平日の昼間における修学が可能となった場合には、指導教員と相談の上、規程別表2(2)－1で示す標準履修基準単位数の履修に変更することができる。その際は、所定様式により研究科長に届け出なければならない。

附 則

この取扱いは、平成30年4月1日から施行する。

## Ⅷ 教育学研究科における入学前の既修得単位の認定に関する申合せ

(趣旨)

第1条 本申合せは、教育学研究科（以下「本研究科」という。）1年次に入学した学生が本研究科入学前に本学又は他の大学の研究科において修得した単位の認定を申し出たときの取り扱い等に関して定めるものである。

(申請手続)

第2条 既修得単位の認定を受けようとする者は、指導教員の承認を得た上で、次の書類を取りそろえ、入学した年度の4月末日までに本研究科長に提出しなければならない。

- 一 単位認定願（本研究科所定の書類）
- 二 成績証明書及び講義内容を明示できるもの（講義概要等）

(単位の認定)

第3条 単位の認定は、教務委員会が審議の上、これを行うものとする。

2 単位の認定は、単位を修得した授業科目に相当する授業科目が本研究科において開講されている場合にこれを行うことができる。

3 単位の認定は、10単位を限度として、これを行うことができる。

(成績評価の表示)

第4条 成績評価の表示は「認定」とする。

(認定単位の扱い)

第5条 認定単位は、本研究科の課程修了の要件に含めることができる。

附 則

この申合せは、平成16年4月1日入学者より適用する。

## Ⅸ 岡山大学教職大学院ラーニングポイント制に関する申合せ

平成 30 年 12 月 19 日 教育学部・教育学研究科運営委員会承認

(趣旨)

- 1 この申合せは、岡山大学大学院教育学研究科規程（平成 16 年岡大院教規程第 1 号）第 14 条の 2 第 1 項及び第 15 条第 4 項の規定に基づき、本研究科教職実践専攻（以下「本専攻」という。）が編成する学修プログラム（以下「プログラム」という。）の教員研修等における学修を本専攻の授業科目の履修とみなし、単位を授与するにあたっての取扱いについて、必要な事項を定めるものである。

(単位授与の対象とする教員研修等)

- 2 単位授与の対象とする教員研修等は、独立行政法人教職員研修機構、岡山県教育委員会、岡山市教育委員会との連携協定に基づき、原則として本専攻又は教師教育開発センターの教員が計画・実施に深く関与し、本専攻が当該専攻の教育水準を有すると認める教員研修等とする。
- 3 上記 2 に示す教員研修等は、別表に示すプログラムの A 群から C 群に掲げられたものとする。

(単位を授与する授業科目等)

- 4 本専攻において履修したものとみなし、単位を授与する授業科目及び単位授与に必要な教員研修等のポイント数は以下のとおりとする。

授業科目名	単位数	必要ポイント数
教育実践演習 A	6 単位	6
教育実践演習 B	4 単位	4
教育実践演習 C	4 単位	4
教育実践演習 D	2 単位	2

(単位を授与するための要件)

- 5 単位を授与するにあたっては、以下に示す要件をすべて満たさなければならない。
  - (1) 単位を授与する時点において、本専攻の正規学生又は本研究科の科目等履修生であること。
  - (2) 別表に示すプログラムの修了要件をすべて満たしていること。
  - (3) プログラムに係るポイント取得証明書（以下「ポイント取得証明書」という。）を本専攻の専攻長（以下「専攻長」という。）より交付されていること。

(ポイント取得証明書の交付)

- 6 単位授与に必要なポイント取得証明書の交付手順は以下のとおりとする。
  - (1) 単位の授与を希望する者（以下「希望者」という。）は、ポイント取得証明書申請願（別紙様式 1）に教員研修の実施機関が発行する当該研修等の修了証の写し、研修期間、研修時間数、研修内容が分かる資料を添え、専攻長に提出する。
  - (2) 専攻長はプログラムの研修内容を確認の上、ポイント取得証明書を発行し、希望者に交付する。



(単位授与の申請)

7 単位授与の申請手順は以下のとおりとする。なお、希望者が本専攻の正規学生でない場合は、本研究科の科目等履修生の身分を有した後に、専攻長は下記(3)に示す単位授与の申請を研究科長に行うことができる。

- (1) 希望者は、専攻長にポイント取得証明書を提出し、単位授与の希望を願い出る。
- (2) 専攻長は、その願い出に基づき、教員研修の時間数、研修内容、自己学修の程度等を勘案し、単位授与の申請を行う授業科目を決定する。
- (3) 専攻長は、希望者のポイント取得証明書を添え、単位授与申請書(別紙様式2)を研究科長に提出する。

(単位授与の可否)

8 単位授与の可否は、研究科長より委託を受けた教務委員会において審査し、その結果の通知は単位修得状況確認表又は成績通知書への記載をもって代える。

(成績評価)

9 成績評価は「認定」とする。

(単位授与の制限)

10 上記4に示す授業科目の単位授与にあたり、同一名称ではない授業科目の単位を複数授与できるが、同一名称の授業科目の単位を重複して授与することはできない。

11 単位授与の上限は16単位とする。

(プログラムのB群・C群に掲げる教員研修の取扱い)

12 本専攻の正規学生に対する別表に示すプログラムのB群・C群に掲げる教員研修の取り扱いについては、以下のとおりとする。

- (1) 正規学生は、本専攻の同一名称の授業科目として履修し、当該科目の単位を修得することができる。ただし、当該科目の修了をもって上記5(2)の要件を判定するものの、当該科目の学修は、上記4に示す教員研修等のポイントには含めないものとする。

- (2) 正規学生は、本専攻の在学期間中に別表に示すプログラムのA群に掲げる教員研修を受講する場合、本専攻が指定するC群の教員研修の一つ又は複数の修了をもって上記5(2)の要件とすることができる。

13 本研究科の科目等履修生に対する別表に示すプログラムのB群・C群に掲げる教員研修の取り扱いについては、以下のとおりとする。

- (1) 科目等履修生は、本専攻の同一名称の授業科目として履修し、当該科目の単位を修得することはできない。
- (2) 科目等履修生は、上記7の単位授与の申請を行った以降に別表に示すプログラムのA群に掲げる教員研修を受講する場合、あらためてB群に掲げる教員研修のすべてを履修しなければならない。
- (3) 本専攻が必要と認める場合、別表に示すプログラムのB群に掲げる教員研修を修了した科目等履修生に対し、本専攻が指定するC群の教員研修の一つ又は複数の修了をもって上記5(2)の要件とすることができる。

附 則

この取扱いは、平成31年4月1日から施行し、平成30年度入学者より適用する。



別表（本専攻学修プログラム）

区分	選 必	教員研修等	実施機関	ポイント	修了要件
A 群	選 択 必 修	総合的ミドルリーダー研修講座	岡山県教育委員会	6	A群の教員研修等を一以上修了していること。
		教科指導ミドルリーダー研修講座	岡山県教育委員会	4	
		総合的ミドルリーダー研修講座	岡山市教育委員会	4	
		授業力パワーアップセミナー	岡山県教育委員会・岡山大学	2 繰り返し可	
		現職C S T養成プログラム	岡山県教育委員会・岡山大学	2 - 6	
		研修のマネジメントを推進する指導者の養成等を目的とする研修（19講座）	教職員支援機構	各2	
		（独）教職員支援機構・岡山大学連携・協力講座	教職員支援機構・岡山大学	2 - 4	
		学校リーダー研修プログラム	岡山大学	2 繰り返し可	
B 群	必 修	教育実践研究Ⅰ（課題分析）	教職大学院	—	A群の教員研修等を一以上修了した後、B群の教員研修をすべて修了していること。
		教育実践研究Ⅱ（課題提案）		—	
C 群	選 択	教育実践特別研究（課題検証）	教職大学院	教職大学院が指定	
		スクールリーダーと組織開発A			
		スクールリーダーと組織開発B			

## X 履修等について

### 1 履修登録等

- (1) 修了要件単位数については、教育学研究科規程別表2に定める各専攻の履修基準単位数に従って修得してください。
- (2) 履修科目は、指導教員の指導のもとに年間の履修計画を立て、指定された期間に学内（研究室等）のパソコンを利用して Web により履修登録を行い、翌日以降に、必ず登録の確認を行ってください。  
なお、確認の結果、エラーとなった科目は、履修登録ができていません。講義番号等を確認し、再度登録してください。履修登録ができていない科目の履修及び単位修得は認められませんので留意してください。不明な点があれば、教育学系教務学生グループへお尋ねください。履修登録期間等の詳細は掲示等によりお知らせします。
- (3) 共通基礎科目及び専門基礎科目を除く各授業科目は、繰り返し履修が可能です。ただし、教職実践専攻の開設授業科目は繰り返し履修することはできません。なお、繰り返し履修した授業科目の2回目以降に修得した単位は、教員免許取得には使えませんので注意してください。
- (4) 修士課程で開講する「教育科学課題研究」は、指導教員毎に講義番号を設定しています。これらの講義番号については、オリエンテーションで配付する「講義番号一覧」を確認のうえ、履修登録をしてください。
- (5) 諸届及び提出物は指定された期日・時刻までに必ず提出してください。ただし、学生便覧で指定された期日が休日の場合は、翌日の指定された時刻までとします。
- (6) 学生に対する種々の連絡は、掲示により行いますので、講義棟の掲示板を必ず見てください。

### 2 学位論文の提出（修士課程の学生のみ）

学位論文は修了年度の1月20日（ただし、上記提出期限が土曜日又は日曜日の場合は、翌週月曜日が提出期限となります）までに、教育学系教務学生グループへ提出してください。

1学期末・2学期末・3学期末に修了する見込みの者は、定められた期限（当該年度の教育学研究科授業日程計画を参照のこと）までに教育学系教務学生グループへ提出してください。

### 3 単位の認定及び成績の評価

- (1) 成績評価の方法は、各授業科目のシラバスに明記しており、学期末試験のみに偏らないよう、学習への意欲や態度、レポート、試験など多様な方法を組み合わせ、多面的な評価を行います。
- (2) 単位の認定は、授業時間の3分の2以上出席した者について、試験・レポート及び平素の成績等により、授業担当教員が行います。
- (3) 本学では、平成20年度入学生よりGPA制度を導入しています。GPA制度については、本便覧の「GPA制度について」を参照してください。成績の評価は、A<sup>+</sup>（100～90点）、A（89～80点）、B（79～70点）、C（69～60点）、修了及び認定を合格（単位修得）とし、F（59点以下）を不合格（単位未修得）とします。

#### 4 定期試験等

- (1) 各授業科目の試験は、原則として学期末に各授業担当教員の指示する日・時限で行います。
- (2) 病気その他やむを得ない事故等のために受験できない者に対しては、試験を延期される場合があります。このような事態が発生した場合は、すみやかに授業担当教員に申し出て、指示に従ってください。受験延期を許可された者に対しては、当初の試験日から2か月以内（後期末試験の場合はその学年末まで）に追試験を行います。
- (3) レポート等は、指定された期限までに直接授業担当教員に提出しなければなりません。

#### 5 受験心得

定期試験等の受験に関する注意事項は、下記のとおりです。各事項を充分熟読の上受験してください。

- (1) 受験する学生は特別の指示がない限り、試験開始時刻の5分前までに所定の教室に入室を完了すること。
- (2) 監督者が指定した座席において受験すること。
- (3) 受験中は必ず学生証を机の上に置くこと。  
ただし、学生証を紛失又は忘れた場合は、監督者に申し出て、その指示に従うこと。
- (4) 受験中、机の上に置くことができるものは、学生証、筆記用具（筆箱等を除く。）及びその他特に許可されたものに限る。それ以外の携行品はカバン等に入れて、座席の下に置くこと。  
また、机の棚板（物入れ）には何も置かないこと。
- (5) 携帯電話や音の出る機器は、必ず電源を切っておくこと。
- (6) 解答用紙には、所属学部等名、入学年、番号及び氏名等の必要事項を必ず万年筆又はボールペンで記入すること。
- (7) 試験開始後20分を経過するまでは退室できない。
- (8) 試験開始後20分を経過した場合は入室できない。
- (9) 答案用紙は、特に指定がない場合、教卓上に提出するか、又は監督者に直接手渡すこと。

自己の机の上に置いて退室すると当該授業科目の単位は認定しない。

- (10) 受験にあたっては、厳正な態度で臨み、誤解を招くような態度や不正行為は厳に慎むこと。  
なお、監督者の指示に従わない者、及び不正行為があると認められた者に対しては、学則第58条（大学院学則第49条）により厳重な懲戒処分を行う。

懲戒処分の対象となる行為は次のとおりである。ここで、試験時間中とは、解答の開始から答案の提出までをいう。

- 1) 代理（替玉）受験をしたり、させたりすること
- 2) 試験時間中に、使用が許可されていないノート及び参考書等並びに電子機器類その他不正行為の手段となり得る物品を参照すること又は使用すること
- 3) 試験時間中に、言語、動作又は電子機器類等により他人に教示すること又は教示を受けて解答に利用すること
- 4) 答案を交換すること
- 5) 試験時間中に、他の学生の答案をのぞき見すること
- 6) 試験時間中に、使用が許可されたノート及び参考書等並びに電子機器類を貸借すること
- 7) 所持品、電子機器類、身体、机又は壁等に書き込みをして試験に臨むこと

- 8) 不正行為を幫助すること
- 9) 試験時間中に、不正行為の手段となり得る物品を机の棚板（物入れ）に置いておくこと
- 10) 不正行為を行おうとすること又は監督者の注意若しくは指示に従わないこと
- 11) その他、試験の公正な実施を妨げる行為をすること

また、不正行為を行った場合は、当該行為が行われた時点において既に単位が認定されている授業科目を除いて、当該学期に履修している全ての授業科目（学期をまたがって履修する授業科目を含む。）の単位は認定しない。

## 6 成績の登録及び通知

- (1) 修得した授業科目の成績は、すべて学籍簿に登録されます。
- (2) 成績通知方法については、次の学期の始まる前に、別途掲示によりお知らせします。
- (3) 成績評価の方法等については、授業担当教員に随時、問い合わせることができます。但し、評点に係る問合せについては、成績開示後、10日以内に行うものとします。
- (4) 成績評価等に係る問合せについて、授業担当教員から十分な回答が得られない場合、教育学系教務学生グループを通じて教務委員会に申し出ることができます。

## 7 学生の通学が困難となる事由が発生した場合における授業等の取扱い（気象警報発令時の休講・インフルエンザ罹患時の公欠等）

気象警報やインフルエンザに罹患した場合など通学が困難となる事由が発生した場合の授業（定期試験を含む。以下同じ。）等については、「休講」、または所定の手続きを行うことにより「公欠」、「準公欠」の取扱いとなります。

「休講」となった授業については、後日、原則として補講を行うものとします。また、「公欠」、「準公欠」の場合は、原則として補講は行わず、授業担当教員が当該授業に相当する学習を課すものとします。詳細は、授業担当教員へ確認してください。なお、公欠及び準公欠扱いとすることができる回数は、当該授業科目の授業回数の3分の1を超えることができません。

なお、以下の取扱いの概略については、別紙「学生の通学が困難となる事由が発生した場合における授業等の取扱いについて《概念図》」を参考にしてください。

- (1) 「本学の所在地（以下「キャンパス」という。）に特別警報及び気象警報（暴風警報、暴風雪警報及び大雪警報に限る。ただし、三朝キャンパスは大雪警報を除く。以下特別警報とまとめて「気象警報等」という。）が発表された場合」

本学のキャンパスを含む地域に、気象警報等が発表された場合の授業は、次のとおり取り扱いいます。

### 【昼間に開講する授業】

- ・気象警報等が、午前6時から午前8時40分（授業開始時刻）までに出ている場合は、全ての授業を休講とします。なお、気象警報等が、午前8時40分までに解除されても、全ての授業は休講とします。
- ・授業開始後に気象警報が出された場合は、次の時限以降の全ての授業を休講とします。特別警報が発表された場合は直ちに全ての授業を休講とします。

### 【夜間に開講する授業】

- ・ 気象警報等が、午後3時から午後6時（授業開始時刻）までに出ている場合は、全ての授業を休講とします。なお、気象警報等が、午後6時まで解除されても、全ての授業は休講とします。
  - ・ 授業開始後に気象警報が出された場合は、次の時限以降の全ての授業を休講とします。特別警報が発表された場合は直ちに全ての授業を休講とします。
- ① 対象となる気象警報等が発表されている地域
- ・ 岡山市内にある本学の「津島キャンパス」、「鹿田キャンパス」、その他キャンパス及び玉野市並びに瀬戸内市にある本学のキャンパスで行われる授業については、岡山地方気象台から発表の「岡山地域」又は「岡山県南部地域」あるいは「岡山県全域」
  - ・ 本学の倉敷キャンパスで行われる授業については、岡山地方気象台から発表の「倉敷地域」又は「岡山県南部地域」あるいは「岡山県全域」
  - ・ 本学の三朝キャンパスで行われる授業については、鳥取地方気象台から発表の三朝町を含む地域
  - ・ 上記以外の本学のキャンパスで行われる授業については、当該キャンパスの所在地の管轄気象台から発表のその所在地を含む地域

注) 地域区分の内訳は、以下のとおり。

岡山県全域	=	岡山県南部地域及び岡山県北部地域
岡山県南部地域	=	岡山地域、東備地域、倉敷地域、井笠地域及び高梁地域
岡山県北部地域	=	新見地域、真庭地域、津山地域及び勝英地域
岡山地域	=	岡山市、瀬戸内市、玉野市及び吉備中央町（いずれかの市町村に気象警報等が発表された場合を含む。）
倉敷地域	=	倉敷市、総社市及び早島町（いずれかの市町村に気象警報等が発表された場合を含む。）

- ② 休講の周知方法等
- ・ 気象警報等が発表された場合は、速やかに休講の周知を行い、この場合の休講の周知は、Gmail\*、学内掲示、本学のホームページ及びマスメディア等を通じて行います。なお、授業開始後に気象警報等が出された場合は、学内掲示等により周知するとともに、授業中のものにあつては、授業担当教員を通じて周知します。ただし、国立大学法人岡山大学職員就業規則第2条第1項第1号に規定する一般職員（以下「一般職員」という。）の勤務時間外に気象警報等が発表された場合は、翌勤務日の勤務時間内において、速やかに休講の周知を行います。
  - ・ 上記にかかわらず、気象警報等の発表が、一般職員の勤務時間外において予想される場合は、Gmail、学内掲示及び本学ホームページにより、前に規定する休講の取扱いについて、あらかじめ周知するものとします。
  - ・ 休講決定後、直ちに下校することが危険な場合には、学内の施設で待機しても構いません。
- ③ 課外活動の取扱い
- ・ 休講措置がとられた場合、課外活動は全て禁止とします。

\*Gmailとは、学生用メールのことで、緊急事項や学務に関する重要事項などについて本学から発信する情報伝達手段の一つとなっています。学生の皆さんは、携帯電話への転送設定を行っていただくことにより、身近に情報を受信することができます。



(2) 休講措置の対象となる気象警報は発表されていないが、気象状況又は交通機関の運行休止等により、学生の通学が困難となる可能性が高い場合は、教育担当理事が兼ねる副学長の判断により、授業等を休講とすることがある。

その場合の休講の通知は、GMail、学内掲示、本学のホームページ及びマスメディア等を通じて行うものとする。

(3) 「休講措置の対象となる気象警報は発表されていないが、その他の警報等により、通学に利用する交通機関が運行休止になった場合その他これに準じる理由により通学が困難な場合」

休講措置の対象とならない気象警報等（注1）や交通機関の運行休止その他これに準じる理由（注2）により通学が困難な場合は、届出により、出席できなかった授業を公欠扱いとします。

注1 休講措置の対象とならない気象警報等とは…

上記(1)の対象となる気象警報等以外の気象警報、又は本学のキャンパス地域には気象警報等が出ていないが、学生が住んでいる地域に気象警報等が出て通学が困難な場合です。

注2 交通機関の運行休止その他これに準じる理由とは…

気象現象、事故等により、交通機関が運行休止し通学が困難な場合（交通機関の運行休止が見込まれ、通学することにより帰宅が困難になる可能性がある場合、道路等が遮断され、自宅から大学又は駅等に行くことが困難な場合を含む。）です。

#### ① 公欠の届出

通学可能となった後、「授業公欠届（気象警報等・交通機関の運休）」（所定様式）を交通機関の運行休止を明らかにする書類とともに教務担当へ提出してください。（なお、根拠書類が提出できない場合は、状況を説明した理由書を添付すること。）

届出を受理した場合は、教務担当から授業担当教員へ連絡します。

#### (4) 「親族が死亡した場合」

葬儀、服喪その他親族の死亡に伴い必要と認められる行事（以下「葬儀等」という。）のため出席できなかった授業については、届出により、公欠扱いとします。

##### ① 公欠となる親族の範囲

公欠となる親族の範囲は、配偶者、1親等（父母、子）及び2親等（祖父母、兄弟姉妹、孫）です。

##### ② 公欠となる期間

公欠は、次に掲げる期間とします。なお、葬儀等のため遠隔地に赴く場合は、往復に要する日数を加えた日数とします。ただし、特別な理由がある場合は、以下に定める起算日に関わらず、葬儀等が行われた日を含む次に掲げる期間とすることができる。

・配偶者及び1親等の場合は、死亡した日から起算して連続7日（休日を含む。）の範囲内の期間

・2親等の場合は、死亡した日から起算して連続3日（休日を含む。）の範囲内の期間

##### ③ 公欠の届出

葬儀等を終えた後、「授業公欠届（忌引き）」（所定様式）を会葬礼状等とともに教務担当へ提出してください。届出を受理した場合は、教務担当から授業担当教員へ連絡します。

## (5) 「感染症に罹患した場合」

次表の感染症に罹患した場合は、医師の診断に基づき出席停止とし、出席停止となった期間に出席できなかった授業については、届出により、公欠扱いとします。

種類	病名
第1種	エボラ出血熱，クリミア・コンゴ出血熱，痘そう，南米出血熱，ペスト，マールブルグ病，ラッサ熱，急性灰白髄炎，ジフテリア，重症急性呼吸器症候群（病原体がコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。），鳥インフルエンザ（病原体がインフルエンザウイルスA属インフルエンザAウイルスであってその血清型がH5N1であるものに限る。），新型インフルエンザ等感染症，指定感染症，新感染症
第2種	インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5N1）及び新型インフルエンザ等感染症を除く。），百日咳，麻疹，流行性耳下腺炎，風疹，水痘，咽頭結膜熱，結核，髄膜炎菌性髄膜炎
第3種	コレラ，細菌性赤痢，腸管出血性大腸菌感染症，腸チフス，パラチフス，流行性角結膜炎，急性出血性結膜炎その他の感染症（※）

※「その他の感染症」とは、感染性胃腸炎（ノロウイルス感染症）、マイコプラズマ感染症、溶連菌感染症及び本学において大規模な流行の兆しがあると判断した感染症とする。本学において大規模な流行の兆しがある感染症については、保健管理センター長の意見に基づき、教育担当理事が決定し、公示する。

### ① 出席停止の期間

出席停止の期間は、次表の期間を基準に、医師に治癒したと診断されるまでとし、病名及び罹患期間が記載された医師の発行する診断書（治癒証明書）に基づき措置します。

種類	出席停止の期間
第1種	治癒するまで。
第2種	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフルエンザ（鳥インフルエンザ（H5N1）及び新型インフルエンザ等感染症を除く。）にあつては、発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで。</li> <li>・百日咳にあつては、特有の咳が消失するまで又は5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで。</li> <li>・麻疹にあつては、解熱した後3日を経過するまで。</li> <li>・流行性耳下腺炎にあつては、耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで。</li> <li>・風疹にあつては、発疹が消失するまで。</li> <li>・水痘にあつては、すべての発疹が痂皮化するまで。</li> <li>・咽頭結膜熱にあつては、主要症状が消退した後2日を経過するまで。</li> <li>・結核及び髄膜炎菌性髄膜炎にあつては、病状により医師において感染のおそれがないと認めるまで。</li> </ul> <p>※病状により医師において感染のおそれがないと認めたときは、上記の限りではありません。</p>
第3種	第3種の感染症に罹患した者については、病状により医師において感染のおそれがないと認めるまで。

### ② 公欠の届出

通学可能となった後、「授業公欠届（感染症）」（所定様式）及び医師が発行する罹患期間に記載された診断書（治癒証明書（コピー可））とともに教務担当へ提出してください。ただし、インフルエンザに限り、発症日の記載された診断書（コピー可）及び「インフルエンザ経過報告書」の提出をもって、治癒証明書に代えることができます。

届出を受理した場合は、教務担当から授業担当教員へ連絡します。



## (6) 「感染の拡大を防止するために本学の一部又は全部を休業する場合」

本学の危機管理対策に基づき、感染症罹患者の発生に伴い、感染症の感染拡大を防止する目的で休業措置をとります。

### ① 休業となった期間の授業の取扱い

休業となった期間の授業の取扱いは、その都度、学長及び教育担当理事及び関係者で協議の上、学長が決定します。

### ② 休業の周知方法

休業の周知は、Gmail、学内掲示、本学のホームページ及びマスメディア等を通じて行います。

## (7) 裁判員制度【準公欠】

裁判員制度に基づき、裁判員候補者として選任手続期日に裁判所へ出頭する場合及び裁判員（補充裁判員を含む。以下同じ。）として職務に従事する場合に出席できなかった授業については、届出により、準公欠扱いとします。

### ① 準公欠となる期間

準公欠となる期間は、次に掲げる期間とします。なお、遠隔の裁判所へ赴く場合にあっては、往復に要する日数を加えた日数とします。

一 裁判員候補者として裁判所へ出頭する選任手続期日

二 裁判員として審理に従事する日

三 裁判員として評議・評決に従事する日

四 裁判員として判決の宣告に立ち会う日

### ② 準公欠の届出

準公欠の届出は、裁判員としての職務を終えた後、所定様式により、学生が所属する学部等の教務担当へ、裁判所の発行する裁判員の職務に従事した期間の証明書とともに提出するものとします。ただし、選任手続期日に裁判所へ出頭し、裁判員に選任されなかった場合の準公欠の届出は、「裁判員等選任手続期日のお知らせ（呼出状）」に、当日出頭したことの証明を受けたものを提出するものとします。

学部等の教務担当は、届出を受理した場合は、その写しにより授業担当教員へ連絡します。

### ③ 準公欠の授業の取扱い

準公欠として取り扱う授業については、原則として補講は行わず、レポートやeラーニング等により授業担当教員が当該授業に相当する学習を課すものとします。ただし、授業担当教員の判断により補講を行うことがあります。

## (8) その他証人、参考人等として官公署へ出頭する場合【準公欠】

証人、参考人等として官公署へ出頭するために出席できなかった授業については、届出により、準公欠扱いとします。

### ① 準公欠となる期間

準公欠となる期間は、その用務に要する日数とします。なお、遠隔の官公署へ赴く場合にあっては、往復に要する日数を加えた日数とします。

### ② 準公欠の届出

準公欠の届出は、その用務を終えた後、所定様式により、学生が所属する学部等の教務担当へ、官公署の発行する当該用務に従事した期間の証明書又はその事実を証明する文書等とともに提出するものとします。

学部等の教務担当は、届出を受理した場合は、その写しにより授業担当教員へ連絡します。

### ③ 準公欠の授業の取扱い

準公欠として取り扱う授業については、原則として補講は行わず、レポートやeラーニング等により授業担当教員が当該授業に相当する学習を課すものとします。ただし、授業担当教員の判断により補講を行うことがあります。

## (9) 災害ボランティア活動【準公欠】

災害ボランティア活動に従事するために出席できなかった授業については、下記⑤に定める所定の手続を経て、準公欠扱いとします。

### ① 対象となる災害

準公欠扱いの対象となる災害については、教育担当理事が決定し、その都度、公示するものとします。

### ② 保護者等の同意

災害ボランティア活動を希望する学生（以下「当該学生」という。）は、あらかじめ保護者等の同意を得て、自己の責任において、災害ボランティア活動に従事するものとします。

### ③ ボランティア団体への所属及び保険への加入

当該学生は、地方自治体又は各都道府県・市町村等の社会福祉協議会等のいずれかのボランティア団体に所属し、その責任の下で、災害ボランティア活動に従事するものとします。ただし、日本国外における災害ボランティア活動に従事する場合は、任意の非政府組織（NGO）又は特定非営利活動法人団体（NPO）等に所属し、その責任の下で、災害ボランティア活動に従事するものとします。

また、災害ボランティア活動に従事する際は、事前に、社会福祉協議会等が取り扱うボランティア活動保険に加入するものとします。ただし、日本国外における災害ボランティア活動に従事する場合は、現地での災害ボランティア活動及び天災に対応する然るべき保険に加入するものとします。

### ④ 準公欠となる期間

準公欠となる期間は、一の学期において7日の範囲内とし、現地へ赴く場合の往復に要する日数を含むものとします。

### ⑤ 準公欠の手続

準公欠の手続は、次のとおりとします。

- 1) 当該学生は、災害ボランティア活動のために現地に赴く前に、「災害ボランティア活動届出書」（所定様式）及び「学生の災害ボランティア活動による授業欠席に係る準公欠の取扱いについて（依頼）」（所定様式）を指導教員等へ提出するものとします。
- 2) 指導教員等は、当該学生から提出された「災害ボランティア活動届出書」（所定様式）及び「学生の災害ボランティア活動による授業欠席に係る準公欠の取扱いについて（依頼）」（所定様式）の内容を確認の上、授業への影響等を考慮して教育的指導を行い、当該災害ボランティア活動が適当であると認めるときは、これを許可するものとします。
- 3) 当該学生は、指導教員等の確認を得た後、「災害ボランティア活動届出書」（所定様式）及び「学生の災害ボランティア活動による授業欠席に係る準公欠の取扱いについて（依頼）」（所定様式）を所属する学部等の教務担当へ、提出するものとします。
- 4) 学部等の教務担当は、当該学生から提出された書類が適切に記入されていること及び社会福祉協議会等が取り扱うボランティア活動保険に加入済みであることを確認の上、受領した後、必要に応じて、関係教務委員会等へ報告するものとします。

5) 当該学生は、災害ボランティア活動終了後に、当該災害ボランティア活動の受入団体から発行されるボランティア活動証明書、「災害ボランティア活動証明書」(所定様式)又は災害ボランティア活動に従事したことを客観的に証明できるもの(ボランティア活動時に配布される案内文等)(以下「証明書等」という。)を、学部等の教務担当へ提出するものとします。

なお、災害ボランティア活動において事故にあった場合は、事故報告書(様式任意)を併せて提出するものとします。

6) 学部等の教務担当は、当該学生から提出された証明書等を確認した後、授業担当教員へ通知するとともに、必要に応じて、関係教務委員会等へ報告するものとします。

#### ⑥ 準公欠の授業の取扱い

準公欠として取り扱う授業については、原則として補講は行わず、レポートやeラーニング等により授業担当教員が当該授業に相当する学習を課すものとします。ただし、授業担当教員の判断により補講を行うことがあります。

### (10) 骨髄移植のための骨髄液提供等【準公欠】

骨髄移植のために、配偶者、父母、子及び兄弟姉妹その他親族以外の者に、骨髄液提供等を行おうとする場合であって、財団法人骨髄移植推進財団に対してドナー登録を行った後、ドナー候補者又はドナーとなり、骨髄液提供等に必要入院等のために出席できなかった授業については、届出により、準公欠扱いとします。

#### ① 準公欠となる期間

準公欠となる期間は、次に掲げる期間とします。なお、入院等のために遠隔の医療機関等へ赴く場合にあつては、往復に要する日数を加えた日数とします。

- 一 ドナー候補者として、確認検査等の説明及び確認検査を受ける日
- 二 ドナー候補者として、骨髄液又は末梢血幹細胞採取に関する最終説明及び最終同意のために医療機関等に赴く日
- 三 ドナーとして、骨髄液又は末梢血幹細胞採取前の健康診断を行う日
- 四 骨髄液採取時に用いる自己血保存のための採血を行う日
- 五 末梢血幹細胞採取前の顆粒球コロニー刺激因子(G-CSF)の注射を行う日
- 六 骨髄液又は末梢血幹細胞採取に伴い入院する日
- 七 骨髄液又は末梢血幹細胞採取後の健康診断を行う日
- 八 その他骨髄バンク事業に関する手続等に必要となる日

#### ② 準公欠の届出

準公欠の届出は、上記①に掲げる各期間の終了後、その都度、所定様式により、学生が所属する学部等の教務担当へ、財団法人骨髄移植推進財団の発行する証明書とともに提出するものとします。学部等の教務担当は、届出を受理した場合は、その写しにより、授業担当教員へ連絡するものとします。

#### ③ 準公欠の授業の取扱い

準公欠として取り扱う授業については、原則として補講は行わず、レポートやeラーニング等により授業担当教員が当該授業に相当する学習を課すものとします。ただし、授業担当教員の判断により補講を行うことがあります。

# 学生の通学が困難となる事由が発生した場合における授業等の取扱いについて《概念図》

## 公欠となる事項

### 1 気象警報・交通機関の運休

ケース①:  
気象警報のうち、  
(1)暴風警報  
(2)暴風雪警報  
(3)大雪警報(三朝を除く。)  
(4)特別警報  
のいずれかが発表されると…  
ケース②:  
教育担当理事の判断による休講

**大学は休講** ※1

この場合、課外活動についても全て禁止

後日、補講を実施

※1 「休講」とは… 授業を取りやめること。

ケース③:  
休講の対象とならない気象警報、交通機関の運行休止により通学が困難となった…

届け出ること、**公欠**

授業担当教員が、当該授業に相当する学習を課すものとする。

### 2 忌引き

学生の親族に不幸が…  
ケース①: 配偶者  
ケース②: 1親等(父母、子)  
ケース③: 2親等(祖父母、兄弟姉妹、孫)

届け出ること、**公欠**

授業担当教員が、当該授業に相当する学習を課すものとする。

①配偶者 死亡日から(または葬儀等が行われた日を含む)連続7日以内  
②1親等 死亡日から(または葬儀等が行われた日を含む)連続7日以内  
③2親等 死亡日から(または葬儀等が行われた日を含む)連続3日以内

### 3 感染症

学生が、感染症に罹患し、出席停止となったら…  
・インフルエンザ  
・麻疹 など  
※特定の感染症に限る。

届け出ること、**公欠**

授業担当教員が、当該授業に相当する学習を課すものとする。

医師の発行する病名・罹患期間の記載された診断書(治療証明書)に基づき、罹患期間=公欠期間とする。

インフルエンザ、麻疹などの集団発生の場合、感染拡大防止の措置として…

**大学は休業** ※2

感染症罹患者の発生に伴い、感染症の感染拡大を防止する目的で行う休業措置については、本学の危機管理対策に基づくものとする。

休業となった期間の授業の取扱いは、その都度、学長及び教育担当理事等で協議の上、学長が決定するものとする。

※2 「休業」とは… 授業のみならず、研究活動についても行わないこと。原則として、大学への立ち入りを禁止する。

### 4 その他特別の事情

ケース①:  
Jアラートが発信され、岡山県内に弾道ミサイルが落下した場合(三朝地区の場合は、鳥取県内)

**大学は休講** ※1

この場合、課外活動についても全て禁止

後日、補講を実施

※1 「休講」とは… 授業を取りやめること。

ケース②:  
休講の対象とならない地域に弾道ミサイルが落下し、学生が通学に利用する交通機関の運行休止等により通学が困難となった場合

届け出ること、**公欠**

授業担当教員が、当該授業に相当する学習を課すものとする。

## 準公欠 ※3 となる事項

### 1 裁判員制度

### 2 その他証人、参考人等として裁判所その他官公署へ出頭する場合

ケース①:  
辞退せず、裁判員制度に基づき裁判所へ出頭したら…  
ケース②:  
証人や参考人等として、裁判所その他官公署へ出頭したら…

届け出ること、**準公欠** ※3

①出頭したことの証明書を添付  
②当該職務に従事した期間の証明書を添付

授業担当教員が、当該授業に相当する学習を課すものとする。

### 3 骨髄移植のための骨髄液提供等

ドナー候補者又はドナーとなり、検査、入院又は諸手続等のために医療機関へ赴く場合は…  
※親族以外に提供する場合に限る。

届け出ること、**準公欠** ※3

(財)骨髄移植推進財団の発行する証明書を添付

授業担当教員が、当該授業に相当する学習を課すものとする。

### 4 災害ボランティア活動

災害ボランティア活動に従事する場合は…  
※学期当たり、最大7日間(往復に要する日数を含む。)を限度とする。  
※対象となる災害は、公示する。

事前の申請により、**準公欠** ※3

①保護者等及び指導教員等の了承を得た上で、事前に、申請書等を提出  
②ボランティア活動終了後、ボランティア活動報告書の提出

授業担当教員が、当該授業に相当する学習を課すものとする。

※3 「準公欠」とは… 公欠に準じて取り扱う授業欠席のこと。

【注意】 ◆ 上記の各手続きは、所属学部・コース・研究科の教務担当窓口にて行ってください。  
◆ 上記以外の授業欠席については、公欠又は準公欠になりません。

## 全国瞬時警報システムが発信され弾道ミサイルが落下した場合の授業等の取扱いについて

平成29年11月 7日

学 長 裁 定

この取扱いは、学生の通学が困難となる事由が発生した場合における授業等の取扱いについて（平成21年9月16日学長裁定）第9の規定に基づき、全国瞬時警報システム（以下「Jアラート」という。）が発信され、弾道ミサイルが落下した場合の授業等の取扱いについて、次のとおり定める。

第1 休講の判断は以下のとおりとする。

- 一 Jアラートが発信され、岡山県内（三朝地区においては、鳥取県内。）に弾道ミサイルが落下した場合、当日の全ての授業を休講とする。ただし、授業中に弾道ミサイルが落下した場合、開講中の授業については、授業担当教員が継続可能か否かを判断する。
- 二 翌日以降の対応については、本学危機対策本部の指示による。

第2 安全の確保及び周知方法等は以下のとおりとする。

- 一 授業担当教員は、授業中にJアラートの発信を確認した際は、屋内にいる場合は、できるだけ窓から離れ、できれば窓のない部屋へ移動する等学生の安全の確保に努める。また、屋外にいる場合は、近くの建物や地下に避難する、又は近くに建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守る等、学生の安全の確保に努める。
- 二 休講の周知は、原則として、Gmail、学内掲示、本学のホームページ及びマスメディア等を通じて行うものとする。

第3 休講措置が取られた場合、課外活動は全て禁止とする。

第4 第1による休講措置の対象とならない地域に弾道ミサイルが落下し、通学に利用する交通機関の運行休止等により通学が困難な場合は、届出により、出席できなかった授業を公欠扱いとする。

第5 公欠の届出は、後日、「学生の通学が困難となる事由が発生した場合における授業等の取扱いについて」の別紙様式1「授業公欠届（気象警報等・交通機関の運休）」により、学生が所属する学部・コース、研究科、特別支援教育特別専攻科、養護教諭特別別科の教務担当（以下「学部等の教務担当」という。）へ提出するものとする。

学部等の教務担当は、届出を受理した場合は、その写しにより授業担当教員へ連絡するものとする。

第6 休講及び公欠の授業の取扱いについては、以下のとおりとする。

- 一 休講として取り扱う授業については、後日、原則として補講を行うものとする。
- 二 公欠として取り扱う授業については、原則として補講は行わず、レポートやeラーニング等により授業担当教員が当該授業に相当する学習を課すものとする。ただし、授業担当教員の判断により補講を行うことがある。

### 附 則

この取扱いは、平成29年11月 7日から施行する。



## G P A 制度について

### 1. GPA制度とは

岡山大学ではG P A制度を導入しています。

G P Aとは, Grade Point Average (グレード・ポイント・アベレージ) の略で, 欧米で一般的に行われている成績評価制度のことです。

G P A制度の成績の表し方とG P ( グレード・ポイント) の換算は次のとおりです。

G P A制度による成績評価		
成績 (評点)	評語	G P
9 0 - 1 0 0 点	A +	欄外参照
8 0 - 8 9 点	A	
7 0 - 7 9 点	B	
6 0 - 6 9 点	C	
0 - 5 9 点	F	0

…合格
…不合格

G P ( グレード・ポイント) 算出方法

$$G P = (\text{評点} - 55) / 10$$

※ただし, 評語「F」(不合格: 評点60点未満) のG P は0とします。また, 「W」, 「認定」, 「修了」, 「未修得」については, 対象外としG P を付しません。

G P A ( グレード・ポイント・アベレージ) 算出方法

$$G P A = \frac{(\text{履修登録した授業科目の単位数} \times \text{当該授業科目のG P}) \text{の総和}}{\text{履修登録した授業科目の単位数の合計}}$$

例えば, 次の架空の成績を基にG P Aを考えてみると, 以下のようになります (実際には, 皆さんは一学期間にもっと多くの科目を履修します)。

科目名	単位数 ( a )	評点	評語	G P ( b )	a × b
〇〇学概論	1	9 5	A +	4. 0	4. 0
〇〇学要説	1	8 5	A	3. 0	3. 0
□□学演習 I	1	5 5	F	0	0
□□学演習 II	0. 5	7 0	B	1. 5	0. 75
△△基礎実験	0. 5	9 0	A +	3. 5	1. 75
計	4				9. 5

上表の学生の場合

履修登録した授業科目の単位数の和 = 4

(履修登録した授業科目の単位数 × 当該授業科目のG P) の和 = 9. 5

$$G P A = 9. 5 \div 4 = \underline{2. 375}$$

### 2. GPAの対象とならない科目

- ① 評点による評価を行わず, 「認定」又は「修了」の評語により, 単位を認定した科目
- ② 岡山大学以外で修得した科目を, 本学の単位として認定したもの

### 3. GPA制度の目的

- ① 成績不振の学生をいち早く発見し, アカデミック・アドバイザー等の教員を中心に, 適切な指導を行うこと。
- ② G P Aを目安にして, 学生に履修登録科目数の自主規制を促し, 計画的な履修を促すこと。
- ③ 学生に対して, 修得単位数だけではなく, 個々の単位のレベルアップを図るよう喚起すること。

## XII コースワークについて

### 1 コースワークとは

大学院では、各専攻分野に関する高度な専門的知識・能力を修得できるように、各専攻で複数の科目を体系的に履修できるようにしています。これらの科目がコースワークです。コースワークは、専攻ごとに全員が履修することになっています。

### 2 教育学研究科（専門職学位課程（教職大学院） 教職実践専攻）のコースワーク

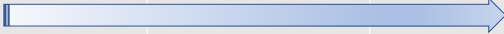
#### (1) 概要

教職大学院は、教育現場の課題について理論と実践の架橋・往還を通して高度にマネジメントし遂行できる総合的・実践的な力量（高度教育実践力）を備えた高度専門職業人としての教員の養成を目的としています。

教職大学院では、「共通科目」「選択科目」「学校における実習」を開設しますが、主に「必修科目」と「選択科目（5領域）」で課題解決に活用できる実践的理論を修得し、「学校における実習」でリアリティのある教育課題と向き合いながら、「教育実践研究（選択科目）」と連動させることで、理論に裏打ちされた実践ができるようにするとともに、他の教師・学校が活用できる「教育実践研究報告書」として言語化できるようにします。

普遍性や汎用性を志向する理論は、学校・地域の実態や教師の力量・立場などによってその効果や適用範囲は限定されるものです。ですから、まず対象となる学校・地域に向向いて、このような変数の多い教育現場を多面的・総合的に捉え、当事者としてそこにある課題の解決に向けて展開されている実践に参画することで、学校・地域の賛同を得て課題の解決策を実践し検証する営みが欠かせません。

また、経験主義を克服し着実に課題解決を図る優れた実践家は、課題の本質を見極めて最善の解決策を提案・実践しその効果を絶えず検証しながら改善し続けるものです。ですから、自身や対象となる学校・地域の実践を客体化できるよう異なる立場の者と省察し言語化することで、賛同する者を増やし巻き込む営みが欠かせません。

職能段階	初任期リーダー	ミドルリーダー	学校リーダー
			
解決が求められる 主な教育課題	学習指導 学級経営	学年経営 対人マネジメント	学校経営 人材育成
職能発達を支える 主な高度教育実践力	分析力・解釈力 企画力・提案力	企画力・提案力 評価力	評価力 マネジメント力
	実践的展開力		
24 単位	必修科目（5領域・岡大独自科目）		
12 単位	選択科目（5領域）		
	選択科目（教育実践研究）		
10 単位	学校における実習		
	教育実践研究報告書		

こうした営みを通して「分析力・解釈力」「企画力・提案力」「評価力」「マネジメント力」「実践的展開力」の5つの高度教育実践力を備えた「アクション・リサーチャーとしての教師」を養成します。

この高度教育実践力は、初任期から中堅、ベテランのどの職能段階でも大切ですから、学部新卒学生と現職教員学生が共に履修できますが、職能段階に応じて高度教育実践力の質や比重、解決すべき教育課題が変わるため、同じ科目でも職能発達に応じて修得すべき高度教育実践力の質や比重は異なります。特に選択科目は対象とする教育課題の解決に必要な高度教育実践力を修得できるように履修します。

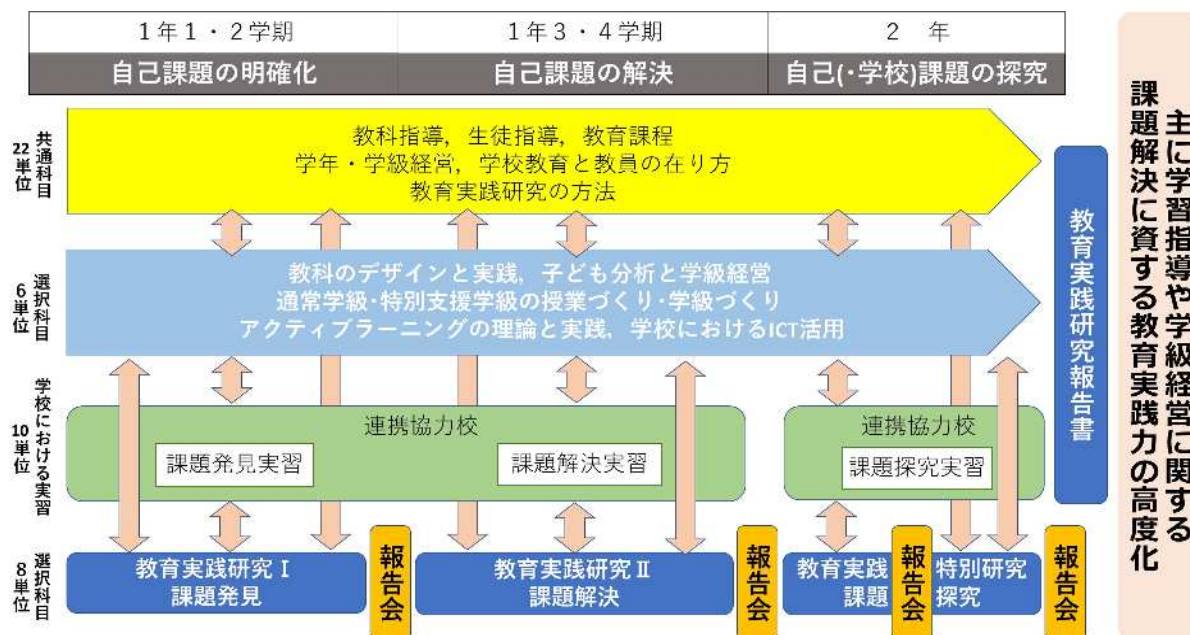
このような学びを通して、学部新卒学生は主に学習指導や学級経営などを通して学校改善に参画する「初任期リーダー」、現職教員学生は主に学習指導や学年・学級経営、生徒指導などで指導的役割を担う「ミドルリーダー」と主に高い視座から学校や地域の課題を捉え直し学校づくりや地域づくりを推進する「学校リーダー」を目指します。



また、こうした職能段階の異なる学生がいる教職大学院は学校の職員室そのものですから、選択科目「スクールリーダーと職能成長」で教師としての職能成長を図る学生同士の関わり方を学んだ上で、コアとなる「学校における実習」や「教育実践研究」では、ゼミの教員や学生だけでなく、他の教員や学年・校種・教科・職能段階の異なる学生との関わりを大切にしています。特に現職教員学生は、現任校の管理職や所管の教育委員会事務局職員とも熟議を重ねます。そうすることで、自分の教育実践力の高度化だけに止まらず、他者が活用して学校や地域の課題解決に役立てることを目指します。

では、具体的なコースワークについて、職能段階ごとに見てみましょう。

## (2) 学部新卒学生「初任期リーダー」



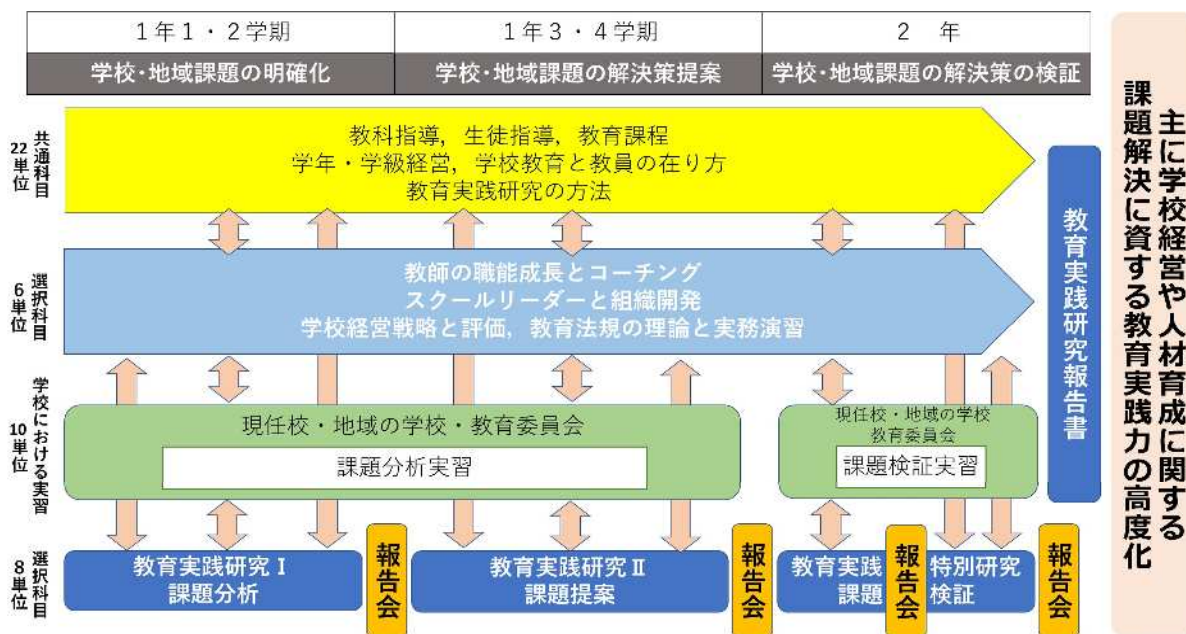
学部新卒学生は、教師としての力量に関する課題が中心です。経験の浅い学部新卒学生は課題を把握できない状態で入学するため、実習を通して主に学習指導や生徒指導などに関わる自己課題を発見・分析した上で、その解決に向けて実践研究を深めます。

したがって、選択科目（5領域）では、主として「教科のデザインと実践Ⅰ・Ⅱ」「通常学級・特別支援学級の授業づくり・学級づくり」「子ども分析と学級経営」「アクティブラーニングの理論と実践」「学校におけるICT活用」などから履修します。

また、コアとなる「学校における実習」と「教育実践研究」では、1年次に同じ連携協力校の2年次生や現職教員学生の協力を得て、「課題発見実習」と「教育実践研究Ⅰ（課題発見）」で自己課題を明確にして課題解決の目標を設定し、「課題解決実習」と「教育実践研究Ⅱ（課題解決）」で自己課題の解決に向けた実践を提案し検証します。2年次に連携協力校の教員の協力を得て、「課題探究実習」と「教育実践特別研究（課題探究）」で自己課題の克服を学校課題の解決につなげる計画を立案し実践・検証するとともに、その過程を言語化し教育実践研究報告書を作成します。

こうした営みを通して、主に学習指導や学級経営に関する課題解決に資する分析力・解釈力や企画力・提案力とともに実践展開力の高度化を図ります。

### (3) 現職教員学生「ミドルリーダー」



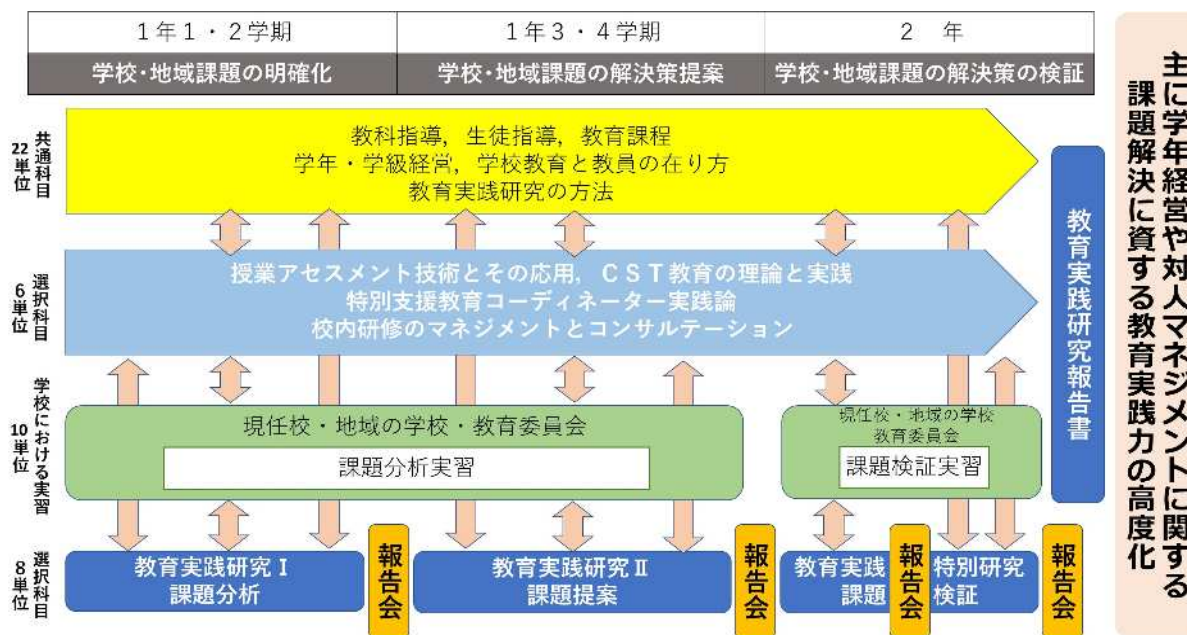
現任教や地域に顕在化している困難な課題と最前線で向き合っている中堅の現職教員学生は多くの課題意識を持って入学するため、主に学年経営や対人マネジメントなどに関わる学校・地域の課題を精選・分析した上で、その解決策を実践・検証し、提案します。

したがって、選択科目（5領域）では、主として「授業アセスメント技術とその応用」「CSTとしての実践」「校内研修のマネジメントとコンサルテーション」「特別支援教育コーディネーター実践論」などから履修します。

また、コアとなる「学校における実習」と「教育実践研究」では、1年次に現任教や教育委員会、2年次生の協力を得て、「課題分析実習」と「教育実践研究Ⅰ（課題分析）」「教育実践研究Ⅱ（課題提案）」で現任教や地域の課題を分析して学校・地域の課題を明確にした上で解決策を提案し、現任教の教職員や教育委員会と協働して次年度の改善計画を作成します。2年次は「課題検証実習」と「教育実践特別研究（課題検証）」で改善計画に基づいて実践を行い、その成果を検証するとともに、その過程を言語化し他でも活用できる教育実践研究報告書を作成します。

こうした営みを通して、主に学年経営や対人マネジメントに関する課題解決に資する企画力・提案力や評価力とともに実践展開力の高度化を図ります。

(4) 現職教員学生「学校リーダー」



現任校や地域に内在する課題解決に向けて学校や地域を挙げた取り組みをリードしているベテランの現職教員学生は複雑な課題とその解決を託されたミッションを抱えて入学するため、主に学校経営や人材育成などに関わる学校・地域の課題の構造を分析した上で、その解決策を提案・検証し、実践・評価します。

したがって、選択科目（5領域）では、主として「スクールリーダーと組織開発」「教師の職能成長とコーチング」「学校経営戦略と評価」「教育法規の理論と実務演習」などから履修します。

また、コアとなる「学校における実習」と「教育実践研究」では、1年次に現任校や地域の学校、教育委員会、2年次生の協力を得て、「課題分析実習」と「教育実践研究 I（課題分析）」「教育実践研究 II（課題提案）」で現任校や地域の課題を分析して学校・地域の課題を明確にした上で解決策を提案し、自他の学校の教職員や教育委員会と協働して次年度の改善計画を作成します。2年次は「課題検証実習」と「教育実践特別研究（課題検証）」で改善計画に基づいて実践を行い、その成果を検証するとともに、その過程を言語化し他校でも活用できる教育実践研究報告書を作成します。

こうした営みを通して、主に学校経営や人材育成に関する課題解決に資する評価力やマネジメント力とともに実践展開力の高度化を図ります。

(5) 各科目

○共通科目

今日的教育課題や教育事象について、それらの仕組みや成り立ちを分析的・理論的に考え、多角的に課題発見・分析できる能力を習得できる5領域と、習得した理論と実習を踏まえ自ら研究テーマを設定して教育実践研究に取り組むために必要な研究方法を習得する「教育実践研究の方法」を岡大独自に設定しています。

授業科目領域	授業科目名
教育課程の編成・実施に関する領域	教育課程編成の実践と課題A・B 特色あるカリキュラムの開発A・B
教科等の実践的な指導方法に関する領域	教材開発と授業デザインA・B 授業の指導計画と学習開発A・B
生徒指導・教育相談に関する領域	生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題A・B 特別支援教育の実践と課題A・B
学級・学校経営に関する領域	学級・学年・学校経営の実践と課題A・B 学校保健・学校安全とリスクマネジメントA・B
学校経営と教員の在り方に関する領域	学校教育の役割と教員の職能開発A・B 学校とコミュニティA・B
教育実践研究に関する領域 (岡大独自)	教育実践研究の方法ⅠA・ⅠB 教育実践研究の方法ⅡA・ⅡB (カリキュラム)(マネジメント)(地域協働)(特別支援教育) (国語教育)(社会科教育)(数学教育)(理科教育)(音楽教育)(美術教育) (保健体育)(技術教育)(家庭科教育)(英語教育)(養護教育)

○選択科目

選択科目は、学生のキャリア段階に応じた職能発達を促し、なおかつ今日的教育課題に対応できるようデマンドサイドのニーズを踏まえた5領域、および教育実践研究で構成しています。

① 5領域の科目群

授業科目領域	授業科目名
教育課程・授業力育成に関する科目群	授業アセスメント技術とその応用A・B 教科のデザインと実践Ⅰ・Ⅱ (国語教育)(社会科教育)(数学教育)(理科教育) (音楽教育)(美術教育)(保健体育)(技術教育) (家庭科教育)(英語教育) 学校保健のデザインと実践 特別支援教育のデザインと実践
生徒指導・学級経営に関する科目群	子ども分析と学級経営A・B 生徒指導と発達支援教育A・B
特別支援教育に関する科目群	通常学級・特別支援学級の授業づくり・学級づくりA・B 特別支援教育コーディネーター実践論A・B
今日的学力に対応する科目群	アクティブラーニングの理論と実践 小学校英語の理論と実践A・B 道徳科の理論と実践A・B 学校におけるICT活用 CSTとしての実践
学校経営・学校組織開発に関する科目群	スクールリーダーと組織開発A・B 学校経営戦略と評価A・B 校内研修のマネジメントとコンサルテーションA・B 教師の職能成長とコーチングA・B 教育法規の理論と実務演習A・B



## ② 教育実践研究

共通科目と選択科目の5領域で習得した「理論」と学校における実習での「実践」を往還しながら、課題の本質を明確化し、その解決策を実施・検証する過程を言語化することを通して、自身の教育実践力の高度化を図ると共に、他者が活用して学校や地域の課題解決に役立てる科目群です。

対象	学年	授業科目名
学部 新卒 生	1年次	教育実践研究Ⅰ（課題発見） ----- 教育実践研究Ⅱ（課題解決）
	2年次	教育実践特別研究（課題探究） カリキュラム・マネジメント・地域協働・特別支援教育・養護教育・国語教育・社会科教育 数学教育・理科教育・音楽教育・美術教育・保健体育・技術教育・家庭科教育・英語教育
現職 教員	1年次	教育実践研究Ⅰ（課題分析） ----- 教育実践研究Ⅱ（課題提案）
	2年次	教育実践特別研究（課題検証） カリキュラム・マネジメント・地域協働・特別支援教育・養護教育・国語教育・社会科教育 数学教育・理科教育・音楽教育・美術教育・保健体育・技術教育・家庭科教育・英語教育

### ○学校における実習科目

学部新卒学生は3つの実習（課題発見実習，課題解決実習，課題探究実習），現職教員学生は課題分析実習と課題検証実習を履修します。（現職教員学生のうち2年目に現任校へ戻る場合は，2年次の実習が免除されることがあります）

実習では，「教育実践研究」と連動させることで，リアリティのある学校や地域の課題を共通科目や選択科目で習得した理論や研究方法に照らして分析的に捉え直したり，分析した課題の解決策を他の教職員等と協働して実践したりする科目群です。

対象	学年	単位数	授業科目名	実施方法
学部 新卒 生	1年次	3単位	課題発見実習	集中／6月～7月 1週間＋1週1回を5回（水曜日） 〔実習先〕連携協力校等
		5単位	課題解決実習	集中／10月～11月3週間 〔実習先〕連携協力校等
	2年次	2単位	課題探究実習	集中／6月2週間 〔実習先〕連携協力校等
現職 教員	1年次	4単位	課題分析実習	通年／1週1回（水曜日） 〔実習先〕現任校及び地域の学校・教育委員会
	2年次	6単位	課題検証実習	通年／1週3回（火・水・木曜日） 〔実習先〕現任校及び地域の学校・教育委員会

共通科目	選択科目	学校における実習科目	単位数総数
24単位	12単位	10単位	46単位

さらに，教職大学院では，自分の教育実践力の高度化を図ると共に，他者が活用して学校や地域の課題解決に役立てることができるように研究の過程を言語化した「教育実践研究報告書」を作成します。

### 3 教育学研究科（修士課程 教育科学専攻）のコースワーク（Project-Based Learning: PBL）

#### （1）概要

修士課程（教育科学専攻）では、学校教育以外でも教育が広く人と社会を支えていることを重視し、教育の新しい価値を提供し、世の中を支える教育科学の可能性を追求することを目指しています。そのため、修士課程（教育科学専攻）では、**修士論文の研究とプロジェクト基盤学修（Project-Based Learning: PBL）**を二つの柱として学修が構成されています。

PBLでは、専門の異なる大学院生がチームを組み、教育科学に関するプロジェクトを企画立案・実施し、実践を通して教育の可能性を広げることが学びます。プロジェクトを構成する力は、社会人として大変重要な資質・能力であることはもちろん、次代を担う研究者としても必要な資質・能力です。

大学院修士課程のPBLは、教育科学PBLのコアを構成する「教育科学の理念と今日的課題B」「教育科学プロジェクト研究概論」「PBL I, II, III」と、それを支える共通基礎科目と専門基礎科目と専門科目から構成されています（図1）。

PBLのプロジェクトは1年次の一年間の期間で実施します。その流れの概略を図1に示します。

**1学期**には、教育科学とは何か、教育を広く柔軟に捉えて各自の専門性を活かすために何が必要か、チームを構成するために必要なことは何か、等を講義や議論や演習を通じて学びます（「教育科学の理念と今日的課題B」および「教育科学プロジェクト研究概論」）。その過程で各自の問題意識を整理し、PBLでターゲットにするプロジェクトを絞り込み、チームを構成します。

また、専攻教員がオムニバスで多様な専門分野を紹介し、教員と大学院生が自由に意見交換する授業（PBL特論I）を設けており、教育科学に対する様々な切り口のヒントを学ぶことができます。

**2学期**には、チームでプロジェクトの企画立案を進め、年間計画も策定し、必要に応じてフィールド調査、文献調査を進めます（PBL I および必要に応じて PBL 特論 II）。問題から課題への移行と、プロジェクトがもたらす成果の価値についてしっかりと議論し、目標を定めます。以上を PBL 中間報告会でチームで発表します。

**3学期**、**4学期**はプロジェクトの実施と検証と評価を進めます（PBL II, III および必要に応じて PBL 特論 III, IV）。ここでは、想定外の事象が起こる場合もあり、人的・物的各種外部資源も活用しながら、1週間ごとの週報を元にチームで主体的に前進させることが重要になります。

PBLの締めくくりとして、PBL最終報告会を設けています。教育科学を活かしたプロジェクトの成果報告や、各々が獲得した能力等を省察する機会を設けます。

以上のPBLのコア部分と並行して、教育科学を支える専門基礎科目を設けています。表1に示すように、教育の可能性を広げることが意識できる講義や教育科学を探究するために必要な基礎的な技能を学ぶ講義で構成されています。専門基礎科目は1、2学期に履修することで、教育科学PBLを進める手掛かりとなる視座や能力を獲得できるようになっています。

専門科目は、多様な専門分野が学べる多くの授業が準備されています。修士論文の研究や教育科学としてPBLを行うために必要な各種専門領域を深く学ぶことができます。また、PBL特論II～IVは、プロジェクト実施のための各種フィールド調査や実践に対応できるように、各プロジェクトと連動して随時開講されます。専門科目には専修免許に対応する授業も準備されており、必要に応じて履修することで専修免許も取得できます。ただし、専修免許取得に必要な要件や対応免許種等については確認が必要です。

また、2年次に開講されるPBL特論V～VIIIでは、1年生が受講するPBL関係の授業の企画・実施に参画することで、授業者として知見を学ぶことができます。

表1 専門基礎科目の概要

な要素を学ぶ授業群	教育科学研究の方法 (研究・研修上の倫理、法規、行政)	教育科学の研究活動における研究倫理の理解を深める。教育行政の理解を深める。
	教育科学研究の方法 (調査法、実験法)	教育科学の研究活動には欠かせない、人の変容を測定する方法の基礎を学修する。心理尺度、行動データの扱い。
	教育科学研究の方法 (教育科学とICT)	教育科学とICTについて理解を深める。ネット社会で必要な技術、規制、倫理について理解する。
	教育科学研究の方法 (教育と地域・起業)	教育科学の成果をふまえて、地域社会や企業・団体での教育の役割を学ぶ。学童保育、スポーツ経営学、社会教育、フリースクール、企業、行政で活躍する方々から学ぶ。
授業群	教育実地展開概論 (教育と地域創生)	地域社会と教育の関わりの事例とその理念を学び、学校等が地域創生に果たす役割を理解する。芸術文化資源の活用を検証する。
	教育実地展開概論 (家庭生活と教育の多様性)	日本の家族の現状、機能とその変化を学修し、多様な環境における子どもに対する教育上の配慮と支援について、家庭・学校・地域社会の連携の視点から考える。
	教育実地展開概論(ESD)	新学力観や教育の社会的役割を多面的に理解する視点をESDを通じて養う。
	教育実地展開概論 (国際教育比較)	日本を含め、国際バカロレア(IB)教育、APEC教育フレーム等、世界の最新の教育改革動向と先進国と途上国の教育課題の理解を深める。JICAを中心とした国際教育支援のポリシーや課題を学ぶ。

なお、特別支援教育、幼児教育、養護教育を中心に学修する大学院生は、共通基礎科目と以下の発達支援系専門基礎科目を履修することでPBLを構成することも可能です。上述のPBL関係授業を組み合わせることも可能です。専修免許取得との関係もありますので、指導教員と相談のうえ履修形態を確定することになります。

○発達支援系専門基礎科目

発達支援研究特論Ⅰ(発達基礎科学A, B)、発達支援研究特論Ⅱ(発達支援の方法論A, B)、発達支援研究特論Ⅲ(幼児教育学A, B)、発達支援研究特論Ⅲ(特別支援教育学A, B)、発達支援研究特論Ⅲ(養護実践学A, B)、発達支援研究特論Ⅳ(保育内容学A, B)、発達支援研究特論Ⅳ(特別支援実践学A, B)、発達支援研究特論Ⅳ(学校保健医科学A, B)、発達支援研究特論Ⅴ(幼児教育実践研究A, B)、発達支援研究特論Ⅴ(特別支援教育実践研究A, B)、発達支援研究特論Ⅴ(養護教育実践研究A, B)

(2) 目的

教育科学専攻のPBLでは、教育科学を活かして、大学院生が主体的に社会に存在する課題を見出してその解決を目指す営みを通じて学修します。ここでの「社会」は、学校内外を含む地域社会、発展途上国を含む国際社会、大学教育、企業、行政など多方面の場を想定しています。教育科学の知識や方法を修得し、実践的課題にそれらを活用して課題の解決に取り組むことができるように以下の4点を目的としています。

- ①教育科学やチームプロジェクトに取り組むために必要な基礎的理論を修得する。
- ②修得した理論をふまえ主体的に課題を設定して教育科学プロジェクトを遂行する力を修得する。
- ③現代的教育課題に関わる課題に取り組むため、最新の研究成果や社会情勢を理解する。
- ④学校と学校外との連携が重要となるこれからの時代を見据え、修得した理論や手法を社会の課題解決のために応用できる。



大学院 教育学研究科 教育学専攻 PBL for Study Program

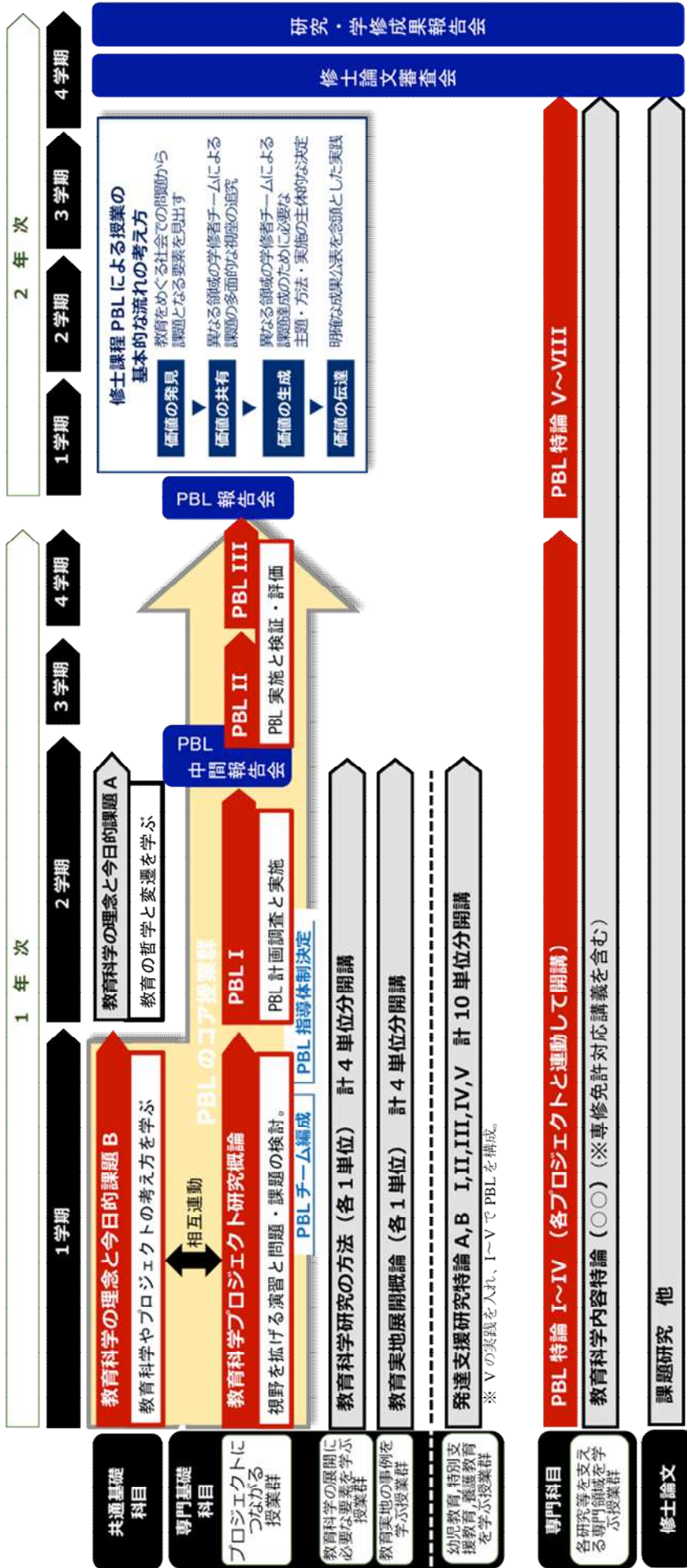


図1 教育学専攻のカリキュラム構造

### XIII 2020（令和2）年度開講科目及び担当教員

#### 授業時間帯

I限	8 : 40	～	9 : 40
II限	9 : 50	～	10 : 50
III限	11 : 00	～	12 : 00
IV限	12 : 50	～	13 : 50
V限	14 : 00	～	15 : 00
VI限	15 : 10	～	16 : 10
VII限	16 : 20	～	17 : 20
VIII限	17 : 30	～	18 : 30

## (1)教職実践専攻

科目区分	講義番号	開講	授業科目	単位	必修	担当教員	開講期別	曜日	時限	備考
共通科目	225301	★	教育課程編成の実践と課題A	1	●必修	高瀬・山田(秀)・川崎・未定	1学期	火	V・VI	
	225302	★	教育課程編成の実践と課題B	1	●必修	高瀬・山田(秀)・川崎・未定	2学期	火	V・VI	
	225303	★	特色あるカリキュラムの開発A	1	●必修	小林・宮本(浩)・川田・山田(秀)・榎野・未定	3学期	火	I・II	
	225304	★	特色あるカリキュラムの開発B	1	●必修	小林・宮本(浩)・川田・山田(秀)・榎野・未定	4学期	火	I・II	
	225305	★	教材開発と授業デザインA	1	●必修	宮本・高旗・岡崎(正)・石橋・藤井・榎野	1学期	火	III・IV	
	225306	★	教材開発と授業デザインB	1	●必修	宮本・高旗・岡崎(正)・石橋・藤井・榎野	2学期	火	III・IV	
	225307	★	授業の指導計画と学習開発A	1	●必修	専任教員全員	3学期前半	水	I・II III・IV	新卒院生対象
	225353	★	授業の指導計画と学習開発A	1	●必修	高瀬・熊谷・金川・小林・宮本・榎野	3学期	金	I・II	現職院生対象
	225308	★	授業の指導計画と学習開発B	1	●必修	宮本・山田(秀)・岡崎(正)・石橋・藤井・榎野	4学期	金	I・II	
	225309	★	生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題A	1	●必修	松枝・赤木・梶原・高岡・高橋(典)	1学期	木	VII・VIII	
	225310	★	生徒指導と学校カウンセリングの実践と課題B	1	●必修	松枝・赤木・梶原・高岡・高橋(典)	2学期	木	VII・VIII	
	225311	★	特別支援教育の実践と課題A	1	●必修	宮崎(善)・佐藤(暁)	3学期	金	V・VI	
	225312	★	特別支援教育の実践と課題B	1	●必修	宮崎(善)・佐藤(暁)	4学期	金	V・VI	
	225313	★	学級・学年・学校経営の実践と課題A	1	●必修	金川・今井	1学期	金	V・VI	
	225314	★	学級・学年・学校経営の実践と課題B	1	●必修	金川・今井	2学期	金	V・VI	
	225315	★	学校保健・学校安全とリスクマネジメントA	1	●必修	未定・松枝・三村・棟方・伊藤(武)	1学期	火	I・II	
	225316	★	学校保健・学校安全とリスクマネジメントB	1	●必修	未定・松枝・三村・棟方・伊藤(武)	2学期	火	I・II	
	225317	★	学校教育の役割と教員の職能開発A	1	●必修	三沢・熊谷・高瀬・梶原	1学期	木	V・VI	
	225318	★	学校教育の役割と教員の職能開発B	1	●必修	三沢・熊谷・高瀬・梶原	2学期	木	V・VI	
	225319	★	学校とコミュニティA	1	●必修	熊谷・梶原	3学期	木	V・VI	
	225320	★	学校とコミュニティB	1	●必修	熊谷・梶原	4学期	木	V・VI	
	225321	★	教育実践研究の方法 I A	1	●必修	金川・小林・三沢・高岡・伊藤(武)・黒崎	1学期	木	I・II	
	225322	★	教育実践研究の方法 I B	1	●必修	金川・小林・三沢・高岡・伊藤(武)・黒崎	2学期	木	I・II	
	225323	★	教育実践研究の方法 II A (カリキュラム)	1	○	高瀬・小林・高橋(典)	3学期	木	VII・VIII	
	225324	★	教育実践研究の方法 II B (カリキュラム)	1	○	高瀬・小林・高橋(典)	4学期	木	VII・VIII	
	225325	★	教育実践研究の方法 II A (マネジメント)	1	○	今井・金川・三沢・未定・赤木	3学期	木	VII・VIII	
	225326	★	教育実践研究の方法 II B (マネジメント)	1	○	今井・金川・三沢・未定・赤木	4学期	木	VII・VIII	
	225327	★	教育実践研究の方法 II A (地域協働)	1	○	熊谷・宮本(浩)・服部・梶原	3学期	木	VII・VIII	
	225328	★	教育実践研究の方法 II B (地域協働)	1	○	熊谷・宮本(浩)・服部・梶原	4学期	木	VII・VIII	
	225329	★	教育実践研究の方法 II A (特別支援教育)	1	○	宮崎 善郎	3学期	木	VII・VIII	
	225330	★	教育実践研究の方法 II B (特別支援教育)	1	○	宮崎 善郎	4学期	木	VII・VIII	
	225331	★	教育実践研究の方法 II A (養護教育)	1	○	三村・松枝・棟方	3学期	木	VII・VIII	
	225332	★	教育実践研究の方法 II B (養護教育)	1	○	三村・松枝・棟方	4学期	木	VII・VIII	
	225333	★	教育実践研究の方法 II A (国語教育)	1	○	田中・松田(聡)・榎野・宮本	3学期	木	VII・VIII	
	225334	★	教育実践研究の方法 II B (国語教育)	1	○	田中・松田(聡)・榎野・宮本	4学期	木	VII・VIII	
	225335	★	教育実践研究の方法 II A (社会科教育)	1	○	川田・山田(秀)	3学期	木	VII・VIII	
	225336	★	教育実践研究の方法 II B (社会科教育)	1	○	川田・山田(秀)	4学期	木	VII・VIII	
	225337	★	教育実践研究の方法 II A (数学教育)	1	○	岡崎(正)・平井・石橋	3学期	木	VII・VIII	
	225338	★	教育実践研究の方法 II B (数学教育)	1	○	岡崎(正)・平井・石橋	4学期	木	VII・VIII	
	225339	★	教育実践研究の方法 II A (理科教育)	1	○	藤井・川崎	3学期	木	VII・VIII	
225340	★	教育実践研究の方法 II B (理科教育)	1	○	藤井・川崎	4学期	木	VII・VIII		
225341	★	教育実践研究の方法 II A (音楽教育)	1	○	齊藤 武	3学期	木	VII・VIII		
225342	★	教育実践研究の方法 II B (音楽教育)	1	○	齊藤 武	4学期	木	VII・VIII		
225343	★	教育実践研究の方法 II A (美術教育)	1	○	河本 昭政	3学期	木	VII・VIII		
225344	★	教育実践研究の方法 II B (美術教育)	1	○	河本 昭政	4学期	木	VII・VIII		
225345	★	教育実践研究の方法 II A (保健体育)	1	○	高岡・大倉	3学期	木	VII・VIII		

## (1)教職実践専攻

科目区分	講義番号	開講	授業科目	単位	必修	担当教員	開講期別	曜日	時限	備考
共通科目	225346	★	教育実践研究の方法ⅡB(保健体育)	1	○	高岡・大倉	4学期	木	Ⅶ・Ⅷ	
	225347	★	教育実践研究の方法ⅡA(技術教育)	1	○	内藤 憲二	3学期	木	Ⅶ・Ⅷ	
	225348	★	教育実践研究の方法ⅡB(技術教育)	1	○	内藤 憲二	4学期	木	Ⅶ・Ⅷ	
	225349	★	教育実践研究の方法ⅡA(家庭科教育)	1	○	佐藤 園	3学期	木	Ⅶ・Ⅷ	
	225350	★	教育実践研究の方法ⅡB(家庭科教育)	1	○	佐藤 園	4学期	木	Ⅶ・Ⅷ	
	225351	★	教育実践研究の方法ⅡA(英語教育)	1	○	ガードナー・キャロル・高塚	3学期	木	Ⅶ・Ⅷ	
	225352	★	教育実践研究の方法ⅡB(英語教育)	1	○	ガードナー・キャロル・高塚	4学期	木	Ⅶ・Ⅷ	
選択科目	225401	★	授業アセスメント技術とその応用A	1		宮本(浩)・高旗	1学期	火	Ⅶ・Ⅷ	
	225402	★	授業アセスメント技術とその応用B	1		宮本(浩)・高旗	2学期	火	Ⅶ・Ⅷ	
	225403	★	指導と評価の理論と実践A	1		宮本(浩)・棟方・川崎	3学期	木	V・VI	
	225404	★	指導と評価の理論と実践B	1		宮本(浩)・平井・岡崎(正)・石橋・山田(秀)・藤井・川崎・高岡・齊藤・未定・内藤・未定・高塚・ガードナー・キャロル・棟方	4学期	木	V・VI	
	225405	★	学習指導の実践と課題A	1		平井・齊藤・岡崎(善)・未定	3学期	月	V・VI	
	225406	★	学習指導の実践と課題B	1		平井・齊藤・岡崎(善)・未定	4学期	月	V・VI	
	225407	★	教科のデザインと実践(国語教育)	1	○	田中・松田(聡)・宮本・榎野	1学期	金	I・II	2019年度以前入学生用
	225480	★	教科のデザインと実践Ⅰ(国語教育)	1	○	田中・松田(聡)・宮本・榎野	1学期	金	I・II	2020年度以降入学生用
	225408	★	教科のデザインと実践(社会科教育)	1	○	川田・山田(秀)	1学期	金	I・II	2019年度以前入学生用
	225481	★	教科のデザインと実践Ⅰ(社会科教育)	1	○	川田・山田(秀)	1学期	金	I・II	2020年度以降入学生用
	225409	★	教科のデザインと実践(数学教育)	1	○	岡崎(正)・平井	2学期	金	I・II	2019年度以前入学生用
	225482	★	教科のデザインと実践Ⅱ(数学教育)	1	○	岡崎(正)・平井	2学期	金	I・II	2020年度以降入学生用
	225410	★	教科のデザインと実践(理科教育)	1	○	藤井・川崎	2学期	金	I・II	2019年度以前入学生用
	225483	★	教科のデザインと実践Ⅱ(理科教育)	1	○	藤井・川崎	2学期	金	I・II	2020年度以降入学生用
	225411	★	教科のデザインと実践(音楽教育)	1	○	齊藤 武	1学期	金	I・II	2019年度以前入学生用
	225484	★	教科のデザインと実践Ⅰ(音楽教育)	1	○	齊藤 武	1学期	金	I・II	2020年度以降入学生用
	225412	★	教科のデザインと実践(美術教育)	1	○	河本 昭政	1学期	金	I・II	2019年度以前入学生用
	225485	★	教科のデザインと実践Ⅰ(美術教育)	1	○	河本 昭政	1学期	金	I・II	2020年度以降入学生用
	225413	★	教科のデザインと実践(保健体育)	1	○	高岡・大倉	2学期	金	I・II	2019年度以前入学生用
	225486	★	教科のデザインと実践Ⅱ(保健体育)	1	○	高岡・大倉	2学期	金	I・II	2020年度以降入学生用
	225414	★	教科のデザインと実践(技術教育)	1	○	内藤 憲二	2学期	金	I・II	2019年度以前入学生用
	225487	★	教科のデザインと実践Ⅱ(技術教育)	1	○	内藤 憲二	2学期	金	I・II	2020年度以降入学生用
	225415	★	教科のデザインと実践(家庭科教育)	1	○	佐藤 園	2学期	金	I・II	2019年度以前入学生用
	225488	★	教科のデザインと実践Ⅱ(家庭科教育)	1	○	佐藤 園	2学期	金	I・II	2020年度以降入学生用
	225416	★	教科のデザインと実践(英語教育)	1	○	ガードナー・キャロル・高塚	1学期	金	I・II	2019年度以前入学生用
	225489	★	教科のデザインと実践Ⅰ(英語教育)	1	○	ガードナー・キャロル・高塚	1学期	金	I・II	2020年度以降入学生用
	225417	★	学校保健のデザインと実践	1	○	三村・松枝・棟方	1学期	金	I・II	
	225490	★	特別支援教育のデザインと実践	1	○	宮崎 善郎	2学期	金	I・II	2020年度以降入学生用
	225418	★	道徳科の理論と実践A	1		小林 万里子	3学期	火	V・VI	
	225419	★	道徳科の理論と実践B	1		小林 万里子	4学期	火	V・VI	
	225420	★	子ども分析と学級経営A	1		高橋(典)・未定・服部	3学期	月	Ⅶ・Ⅷ	
	225421	★	子ども分析と学級経営B	1		高橋(典)・未定・服部	4学期	月	Ⅶ・Ⅷ	
	225422	★	生徒指導と発達支援教育A	1		小林・大竹・未定	1学期	月	Ⅶ・Ⅷ	
	225423	★	生徒指導と発達支援教育B	1		小林・大竹・未定	2学期	月	Ⅶ・Ⅷ	
225424	★	通常学級・特別支援学級の授業づくり・学級づくりA	1		宮崎(善)・佐藤(暁)	3・4学期 またがり	随時	随時		
225425	★	通常学級・特別支援学級の授業づくり・学級づくりB	1		宮崎(善)・佐藤(暁)	3・4学期 またがり	随時	随時		
225426	★	特別支援教育コーディネーター実践論A	1		宮崎(善)・佐藤(暁)・吉利・丹治	3学期	金	Ⅲ・Ⅳ		
225427	★	特別支援教育コーディネーター実践論B	1		宮崎(善)・佐藤(暁)・吉利・丹治	4学期	金	Ⅲ・Ⅳ		

## (1)教職実践専攻

科目区分	講義番号	開講	授業科目	単位	必修	担当教員	開講期別	曜日	時限	備考
選択科目	225428	★	スクールリーダーと組織開発A	1		高瀬・今井・熊谷・金川・小林・高橋(典)・三沢・宮本・未定	2学期	木	Ⅲ・Ⅳ	
	225429		スクールリーダーと組織開発B	1		高瀬・今井・熊谷・金川・小林・高橋(典)・三沢・宮本・未定				今年度は開講せず
	225430	★	学校経営戦略と評価A	1		金川・今井	1学期	金	Ⅲ・Ⅳ	
	225431	★	学校経営戦略と評価B	1		金川・今井	2学期	金	Ⅲ・Ⅳ	
	225432	★	校内研修のマネジメントとコンサルテーションA	1		金川・三沢・未定	3学期	火	Ⅲ・Ⅳ	
	225433	★	校内研修のマネジメントとコンサルテーションB	1		金川・三沢・未定	4学期	火	Ⅲ・Ⅳ	
	225434	★	教師の職能成長とコーチングA	1		三沢・熊谷・大倉・高岡	3学期	木	I・II	
	225435	★	教師の職能成長とコーチングB	1		三沢・熊谷・大倉・高岡	4学期	木	I・II	
	225436	★	教育法規の理論と実務演習A	1		高瀬・梶原	3学期	木	Ⅲ・Ⅳ	
	225437	★	教育法規の理論と実務演習B	1		高瀬・梶原	4学期	木	Ⅲ・Ⅳ	
	225438	★	アクティブラーニングの理論と実践	1		高旗・未定	3学期	火	Ⅶ・Ⅷ	
	225439	★	学校におけるICT活用	1		宮本・内藤	1学期	月	V・VI	
	225440	★	CST教育の理論と実践	1		山崎 光洋	3学期	随時	随時	2019年度以前入学生用
	225491	★	CSTとしての実践	1		山崎 光洋	3学期	随時	随時	2020年度以降入学生用
	225441	★	小学校英語の理論と実践	1		ガードナー・キャロル・高塚	3学期	火	Ⅶ・Ⅷ	2019年度以前入学生用
	225492	★	小学校英語の理論と実践A	1		ガードナー・キャロル・高塚	3学期	火	Ⅶ・Ⅷ	2020年度以降入学生用
	225493	★	小学校英語の理論と実践B	1		ガードナー・キャロル・高塚	4学期	火	Ⅶ・Ⅷ	2020年度以降入学生用
	225442	★	教育実践演習A	6		高瀬・高旗・未定	通年	随時	随時	
	225443	★	教育実践演習B	4		高瀬・高旗・未定	通年	随時	随時	
	225444	★	教育実践演習C	4		高瀬・高旗・未定	通年	随時	随時	
	225445	★	教育実践演習D	2		高瀬・高旗・未定	通年	随時	随時	
	225446	★	教育実践研究Ⅰ(課題発見)	2	●必修	専任教員全員	1・2学期 またがり	月	Ⅲ・Ⅳ	新卒院生対象 1年次
	225447	★	教育実践研究Ⅱ(課題解決)	2	●必修	専任教員全員	3・4学期 またがり	月	Ⅲ・Ⅳ	新卒院生対象 1年次
	225448	★	教育実践特別研究(課題探究)カリキュラム	4	○	高瀬・小林・高橋(典)	通年	随時	随時	新卒院生対象 2年次
	225449	★	教育実践特別研究(課題探究)マネジメント	4	○	今井・金川・三沢・未定・赤木	通年	随時	随時	新卒院生対象 2年次
	225450	★	教育実践特別研究(課題探究)地域協働	4	○	熊谷・宮本(浩)・服部・梶原	通年	随時	随時	新卒院生対象 2年次
	225451	★	教育実践特別研究(課題探究)特別支援教育	4	○	宮崎 善郎	通年	随時	随時	新卒院生対象 2年次
	225452	★	教育実践特別研究(課題探究)養護教育	4	○	三村・松枝・棟方	通年	随時	随時	新卒院生対象 2年次
	225453	★	教育実践特別研究(課題探究)国語教育	4	○	田中・宮本(浩)・松田(聡)・榎野	通年	随時	随時	新卒院生対象 2年次
	225454	★	教育実践特別研究(課題探究)社会科教育	4	○	川田・山田(秀)	通年	随時	随時	新卒院生対象 2年次
	225455	★	教育実践特別研究(課題探究)数学教育	4	○	岡崎(正)・平井	通年	随時	随時	新卒院生対象 2年次
	225456	★	教育実践特別研究(課題探究)理科教育	4	○	藤井・川崎	通年	随時	随時	新卒院生対象 2年次
	225457	★	教育実践特別研究(課題探究)音楽教育	4	○	齊藤 武	通年	随時	随時	新卒院生対象 2年次
	225458	★	教育実践特別研究(課題探究)美術教育	4	○	河本 昭政	通年	随時	随時	新卒院生対象 2年次
	225459	★	教育実践特別研究(課題探究)保健体育	4	○	高岡・大倉	通年	随時	随時	新卒院生対象 2年次
	225460	★	教育実践特別研究(課題探究)技術教育	4	○	内藤 憲二	通年	随時	随時	新卒院生対象 2年次
225461	★	教育実践特別研究(課題探究)家庭科教育	4	○	佐藤 園	通年	随時	随時	新卒院生対象 2年次	
225462	★	教育実践特別研究(課題探究)英語教育	4	○	ガードナー・キャロル・高塚	通年	随時	随時	新卒院生対象 2年次	
225463	★	教育実践研究Ⅰ(課題分析)	2	●必修	専任教員全員	1・2学期 またがり	金	Ⅶ・Ⅷ	現職院生対象 1年次	
225464	★	教育実践研究Ⅱ(課題提案)	2	●必修	専任教員全員	3・4学期 またがり	金	Ⅶ・Ⅷ	現職院生対象 1年次	



## (1)教職実践専攻

科目区分	講義番号	開講	授業科目	単位	必修	担当教員	開講期別	曜日	時限	備考
選択科目	225465	★	教育実践特別研究(課題検証) カリキュラム	4	○	高瀬・小林・高橋(典)	通年	随時	随時	現職院生対象 2年次
	225466	★	教育実践特別研究(課題検証) マネジメント	4	○	今井・金川・三沢・未定・赤木	通年	随時	随時	現職院生対象 2年次
	225467	★	教育実践特別研究(課題検証) 地域協働	4	○	熊谷・宮本(浩)・服部・梶原	通年	随時	随時	現職院生対象 2年次
	225468	★	教育実践特別研究(課題検証) 特別支援教育	4	○	宮崎 善郎	通年	随時	随時	現職院生対象 2年次
	225469	★	教育実践特別研究(課題検証) 養護教育	4	○	三村・松枝・棟方	通年	随時	随時	現職院生対象 2年次
	225470	★	教育実践特別研究(課題検証) 国語教育	4	○	田中・宮本(浩)・松田(聡)・榎野	通年	随時	随時	現職院生対象 2年次
	225471	★	教育実践特別研究(課題検証) 社会科教育	4	○	川田・山田(秀)	通年	随時	随時	現職院生対象 2年次
	225472	★	教育実践特別研究(課題検証) 数学教育	4	○	岡崎(正)・平井・石橋	通年	随時	随時	現職院生対象 2年次
	225473	★	教育実践特別研究(課題検証) 理科教育	4	○	藤井・川崎	通年	随時	随時	現職院生対象 2年次
	225474	★	教育実践特別研究(課題検証) 音楽教育	4	○	齊藤 武	通年	随時	随時	現職院生対象 2年次
	225475	★	教育実践特別研究(課題検証) 美術教育	4	○	河本 昭政	通年	随時	随時	現職院生対象 2年次
	225476	★	教育実践特別研究(課題検証) 保健体育	4	○	高岡・大倉	通年	随時	随時	現職院生対象 2年次
	225477	★	教育実践特別研究(課題検証) 技術教育	4	○	内藤 憲二	通年	随時	随時	現職院生対象 2年次
	225478	★	教育実践特別研究(課題検証) 家庭科教育	4	○	佐藤 園	通年	随時	随時	現職院生対象 2年次
225479	★	教育実践特別研究(課題検証) 英語教育	4	○	ガードナー・キャロル・高塚	通年	随時	随時	現職院生対象 2年次	
学校 における 実習	225501	★	課題発見実習	3	●必修	専任教員全員	1・2学期 またがり	随時	随時	新卒院生対象 1年次 6月～7月 1週(連続)及び 週1日(5回)
	225502	★	課題解決実習	5	●必修	専任教員全員	3・4学期 またがり	随時	随時	新卒院生対象 1年次 10月～11月 3週(連続)
	225503	★	課題探究実習	2	●必修	専任教員全員	通年	随時	随時	新卒院生対象 2年次 6月 2週(連続)
	225504	★	課題分析実習	4	●必修	専任教員全員	通年	随時	随時	現職院生対象 1年次
	225505	★	課題検証実習	6	●必修	専任教員全員	通年	随時	随時	現職院生対象 2年次
	225506	★	教育実践特別実習A	4			1・2学期 またがり	随時	随時	
	225507	★	教育実践特別実習B	4			3・4学期 またがり	随時	随時	
	225508	★	教育実践特別実習C	2			1・2学期 またがり	随時	随時	
	225509	★	教育実践特別実習D	2			3・4学期 またがり	随時	随時	

## (2)教育科学専攻

科目区分	講義番号	開講	授業科目名	単位	必修	担当教員	開講区分	曜日	時限	備考
共通基礎科目	226001	★	教育科学の理念と今日的課題A	1	●必修	尾上・梶井・平田	2学期	金	I・II	
	226002	★	教育科学の理念と今日的課題B	1	●必修	清田・飯田・福田・笠井・木村・桑原 ほか	1学期	金	I・II	
専門基礎科目	226011		教育科学研究の方法 (研究・研修上の倫理, 法規, 行政)	1						今年度は開講せず
	226012	★	教育科学研究の方法 (調査法, 実験法)	1		寺澤・三宅	2学期	木	III・IV	
	226013	★	教育科学研究の方法 (教育科学とICT)	1		笠井 俊信	4学期	火	III・IV	
	226014	★	教育科学研究の方法 (教育と地域・起業)	1		桑原・中山・高岡・熊谷	1学期	火	III・IV	
	226021	★	教育実地展開概論 (教育と地域創生)	1		赤木(里)・才士・伊藤(駿)	1学期	木	III・IV	
	226022	★	教育実地展開概論 (家庭生活と教育の多様性)	1		李 璟媛	3学期	火	III・IV	
	226023	★	教育実地展開概論 (ESD)	1		柴川 弘子	2学期	金	III・IV	
	226024	★	教育実地展開概論 (国際教育比較)	1		喜多・原・上村・石原	1学期	金	III・IV	
	226031	★	教育科学プロジェクト研究概論	1	●必修※1	清田・飯田・福田・笠井・木村・桑原 ほか	1学期	火	I・II	
	226032	★	PBL I	1	●必修※1	清田・飯田・福田・笠井・木村・桑原 ほか	2学期	火	I・II	
	226033	★	PBL II	1	●必修※1	清田・飯田・福田・笠井・木村・桑原 ほか	3学期	火	I・II	
	226034	★	PBL III	1	●必修※1	清田・飯田・福田・笠井・木村・桑原 ほか	4学期	火	I・II	
	226041	★	発達支援研究特論 I (発達基礎科学A)	1	●必修※2	片山・大守	1学期	金	III・IV	
	226042	★	発達支援研究特論 I (発達基礎科学B)	1	●必修※2	片山・三村	2学期	金	III・IV	
	226043	★	発達支援研究特論 II (発達支援の方法論A)	1	●必修※2	佐藤 暁	3学期	月	I・II	
	226044	★	発達支援研究特論 II (発達支援の方法論B)	1	●必修※2	佐藤 暁	4学期	月	I・II	
	226045	★	発達支援研究特論 III (幼児教育学A)	1		横松 友義	3学期	金	VII・VIII	
	226046	★	発達支援研究特論 III (幼児教育学B)	1		横松 友義	4学期	金	VII・VIII	
	226047	★	発達支援研究特論 III (特別支援教育学A)	1	●必修※2	吉利 宗久	1学期	木	V・VI	
	226048	★	発達支援研究特論 III (特別支援教育学B)	1	●必修※2	吉利 宗久	2学期	木	V・VI	
	226049	★	発達支援研究特論 III (養護実践学A)	1		上村・山内	1学期	火	III・IV	
	226050	★	発達支援研究特論 III (養護実践学B)	1		上村・山内	2学期	火	III・IV	
	226051	★	発達支援研究特論 IV (保育内容学A)	1		梶谷・高橋(敏)・西山	1学期	木	VII・VIII	
	226052	★	発達支援研究特論 IV (保育内容学B)	1		梶谷・高橋(敏)・西山	2学期	木	VII・VIII	
	226053	★	発達支援研究特論 IV (特別支援実践学A)	1	●必修※2	大竹 喜久	1学期	火	III・IV	
	226054	★	発達支援研究特論 IV (特別支援実践学B)	1	●必修※2	大竹 喜久	2学期	火	III・IV	
	226055	★	発達支援研究特論 IV (学校保健医科学A)	1		伊藤(武)・津島・松枝	1学期	木	V・VI	
	226056	★	発達支援研究特論 IV (学校保健医科学B)	1		伊藤(武)・津島・松枝	2学期	木	V・VI	
	226057	★	発達支援研究特論 V (幼児教育実践研究A)	1		高橋(敏)・梶谷・西山・横松・片山	3学期	金	I・II	
	226058	★	発達支援研究特論 V (幼児教育実践研究B)	1		高橋(敏)・梶谷・西山・横松・片山	4学期	金	I・II	
	226059	★	発達支援研究特論 V (特別支援教育実践研究A)	1	●必修※2	佐藤(暁)・大竹・丹治	1学期	水	I・II	
	226060	★	発達支援研究特論 V (特別支援教育実践研究B)	1	●必修※2	佐藤(暁)・大竹・丹治	2学期	水	I・II	
226061		発達支援研究特論 V (特別支援教育実践研究C)	1		大守・吉利	1学期	水	I・II	隔年開講	
226062		発達支援研究特論 V (特別支援教育実践研究D)	1		大守・吉利	2学期	水	I・II	隔年開講	
226063	★	発達支援研究特論 V (養護教育実践研究A)	1		上村・山内	1学期	水	V・VI		
226064	★	発達支援研究特論 V (養護教育実践研究B)	1		上村・山内	2学期	水	V・VI		
専門科目	226101	★	教育哲学特論 I A	1		平田 仁胤	1学期	月	III・IV	隔年開講
	226102	★	教育哲学特論 I B	1		平田 仁胤	2学期	月	III・IV	隔年開講
	226103		教育哲学特論 II A	1		平田 仁胤	1学期	月	III・IV	隔年開講
	226104		教育哲学特論 II B	1		平田 仁胤	2学期	月	III・IV	隔年開講
	226105	★	教育哲学特論演習A	1		平田 仁胤	3学期	月	V・VI	
	226106	★	教育哲学特論演習B	1		平田 仁胤	4学期	月	V・VI	
	226107	★	日本教育史特論 I A	1		梶井 一暁	1学期	木	V・VI	隔年開講
	226108	★	日本教育史特論 I B	1		梶井 一暁	2学期	木	V・VI	隔年開講
	226109		日本教育史特論 II A	1		梶井 一暁	1学期	木	V・VI	隔年開講
	226110		日本教育史特論 II B	1		梶井 一暁	2学期	木	V・VI	隔年開講
	226111	★	日本教育史特論演習A	1		梶井 一暁	3学期	木	V・VI	
	226112	★	日本教育史特論演習B	1		梶井 一暁	4学期	木	V・VI	
	226113	★	西洋教育史特論 I A	1		尾上 雅信	1学期	火	V・VI	隔年開講
	226114	★	西洋教育史特論 I B	1		尾上 雅信	2学期	火	V・VI	隔年開講
	226115		西洋教育史特論 II A	1		尾上 雅信	1学期	火	V・VI	隔年開講
	226116		西洋教育史特論 II B	1		尾上 雅信	2学期	火	V・VI	隔年開講
	226117	★	西洋教育史特論演習A	1		尾上 雅信	3学期	金	V・VI	
	226118	★	西洋教育史特論演習B	1		尾上 雅信	4学期	金	V・VI	
226119		学習心理学特論 I A	1		寺澤 孝文	1学期	水	III・IV	隔年開講	
226120		学習心理学特論 I B	1		寺澤 孝文	2学期	水	III・IV	隔年開講	

※1発達支援系以外は必修。

※2発達支援系(特別支援学校教諭専修免許状申請予定者)は原則として必修としますが、それ以外の者は指導教員との相談の上決定してください。

※3講義番号はオリエンテーションで配付する「講義番号一覧」を参照してください。



## (2)教育科学専攻

科目区分	講義番号	開講	授業科目名	単位	必修	担当教員	開講区分	曜日	時限	備考
専門科目	226121	★	学習心理学特論ⅡA	1		寺澤 孝文	1学期	水	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講
	226122	★	学習心理学特論ⅡB	1		寺澤 孝文	2学期	水	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講
	226123	★	学習心理学特論演習A	1		寺澤 孝文	3学期	随時	随時	隔年開講
	226124	★	学習心理学特論演習B	1		寺澤 孝文	4学期	随時	随時	隔年開講
	226125	★	教育臨床心理学特論A	1		青木 多寿子	3学期	火	V・VI	隔年開講
	226126	★	教育臨床心理学特論B	1		青木 多寿子	4学期	火	V・VI	隔年開講
	226127	★	生徒指導特論A	1		三島 知剛	3学期	水	I・II	
	226128	★	生徒指導特論B	1		三島 知剛	4学期	水	I・II	
	226129		生徒指導特論演習A	1		青木 多寿子	3学期	火	VII・VIII	隔年開講
	226130		生徒指導特論演習B	1		青木 多寿子	4学期	火	VII・VIII	隔年開講
	226131	★	教育評価法特論ⅠA	1		山田 剛史	1学期	随時	随時	隔年開講
	226132	★	教育評価法特論ⅠB	1		山田 剛史	2学期	随時	随時	隔年開講
	226133		教育評価法特論ⅡA	1						開講予定なし
	226134		教育評価法特論ⅡB	1						開講予定なし
	226135		教育評価法特論演習A	1						開講予定なし
	226136		教育評価法特論演習B	1						開講予定なし
	226137		発達心理学特論A	1		岡崎 善弘	1学期	金	VII・VIII	隔年開講
	226138	★	発達心理学特論B	1		三宅 幹子	2学期	随時	随時	隔年開講
	226139	★	児童心理学特論A	1		岡崎 善弘	1学期	随時	随時	隔年開講
	226140	★	児童心理学特論B	1		岡崎 善弘	2学期	随時	随時	隔年開講
	226141		児童心理学特論演習A	1		岡崎 善弘	3学期	火	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講
	226142		児童心理学特論演習B	1		岡崎 善弘	4学期	火	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講
	226143		青年心理学特論A	1		三宅 幹子	1学期	金	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講
	226144		青年心理学特論B	1		三宅 幹子	2学期	金	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講
	226145	★	青年心理学特論演習A	1		三宅 幹子	3学期	金	V・VI	隔年開講
	226146	★	青年心理学特論演習B	1		三宅 幹子	4学期	金	V・VI	隔年開講
	226147		進路指導特論A	1		青木 多寿子	1学期	火	VII・VIII	隔年開講
	226148		進路指導特論B	1		青木 多寿子	2学期	火	VII・VIII	隔年開講
	226149	★	教育制度特論A	1		高瀬 淳	2学期	水	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講
	226150		教育制度特論B	1		高瀬 淳	2学期	水	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講
	226151	★	社会教育学特論A	1		熊谷 慎之輔	1学期	水	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講
	226152		社会教育学特論B	1		熊谷 慎之輔	1学期	水	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講
	226153	★	教育社会学特論ⅠA	1		山口 健二	3学期	火	V・VI	隔年開講
	226154	★	教育社会学特論ⅠB	1		山口 健二	4学期	火	V・VI	隔年開講
	226155		教育社会学特論ⅡA	1		山口 健二	3学期	火	V・VI	隔年開講
	226156		教育社会学特論ⅡB	1		山口 健二	4学期	火	V・VI	隔年開講
	226157	★	教育社会学特論演習A	1		山口 健二	3学期	火	VII・VIII	
	226158	★	教育社会学特論演習B	1		山口 健二	4学期	火	VII・VIII	
	226159		教育方法学特論ⅠA	1		尾島 卓	3学期	月	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講
	226160		教育方法学特論ⅠB	1		尾島 卓	4学期	月	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講
	226161	★	教育方法学特論ⅡA	1		尾島 卓	3学期	月	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講
	226162	★	教育方法学特論ⅡB	1		尾島 卓	4学期	月	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講
	226163	★	教育方法学特論演習A	1		尾島 卓	3学期	木	Ⅲ・Ⅳ	
	226164	★	教育方法学特論演習B	1		尾島 卓	4学期	木	Ⅲ・Ⅳ	
	226165	★	学校社会学特論ⅠA	1		高旗 浩志	3学期	月	VII・VIII	隔年開講
	226166	★	学校社会学特論ⅠB	1		高旗 浩志	4学期	月	VII・VIII	隔年開講
	226167		学校社会学特論ⅡA	1		高旗 浩志	3学期	月	VII・VIII	隔年開講
226168		学校社会学特論ⅡB	1		高旗 浩志	4学期	月	VII・VIII	隔年開講	
226201		教育科学特論(国語科教育学ⅠA)	1		浮田 真弓	3学期	月	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講	
226202		教育科学特論(国語科教育学ⅠB)	1		浮田 真弓	4学期	月	V・VI	隔年開講	
226203	★	教育科学特論(国語科教育学ⅡA)	1		浮田 真弓	3学期	水	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講	
226204	★	教育科学特論(国語科教育学ⅡB)	1		浮田 真弓	4学期	水	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講	
226205		教育科学特論(国語学ⅠA)	1		伊土 耕平	3学期	金	V・VI	隔年開講	
226206		教育科学特論(国語学ⅠB)	1		伊土 耕平	4学期	金	V・VI	隔年開講	
226207	★	教育科学特論(国語学ⅡA)	1		伊土 耕平	3学期	金	V・VI	隔年開講	
226208	★	教育科学特論(国語学ⅡB)	1		伊土 耕平	4学期	金	V・VI	隔年開講	
226209		教育科学特論(国語学ⅢA)	1		又吉 里美	1学期	金	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講	
226210		教育科学特論(国語学ⅢB)	1		又吉 里美	2学期	金	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講	
226211	★	教育科学特論(国語学ⅣA)	1		又吉 里美	1学期	金	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講	
226212	★	教育科学特論(国語学ⅣB)	1		又吉 里美	2学期	金	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講	
226213		教育科学特論(近代文学ⅠA)	1		木村 功	3学期	木	I・II	隔年開講	

※1発達支援系以外は必修。

※2発達支援系(特別支援学校教諭専修免許状申請予定者)は原則として必修としますが、それ以外の者は指導教員との相談の上決定してください。

※3講義番号はオリエンテーションで配付する「講義番号一覧」を参照してください。

## (2) 教育科学専攻

科目区分	講義番号	開講	授業科目名	単位	必修	担当教員	開講区分	曜日	時限	備考	
専門科目	226214		教育科学特論(近代文学ⅠB)	1		木村 功	4学期	木	I・II	隔年開講	
	226215	★	教育科学特論(近代文学ⅡA)	1		木村 功	3学期	木	I・II	隔年開講	
	226216	★	教育科学特論(近代文学ⅡB)	1		木村 功	4学期	木	I・II	隔年開講	
	226217		教育科学特論(漢文学ⅠA)	1		土屋 聡	1学期	月	V・VI	隔年開講	
	226218		教育科学特論(漢文学ⅠB)	1		土屋 聡	2学期	月	V・VI	隔年開講	
	226219	★	教育科学特論(漢文学ⅡA)	1		土屋 聡	1学期	月	V・VI	隔年開講	
	226220	★	教育科学特論(漢文学ⅡB)	1		土屋 聡	2学期	月	V・VI	隔年開講	
	226301	★	教育科学特論(社会科教育学ⅠA)	1		桑原 敏典	1学期	木	V・VI		
	226302	★	教育科学特論(社会科教育学ⅠB)	1		桑原 敏典	2学期	木	V・VI		
	226303	★	教育科学特論演習(社会科教育学ⅠA)	1		桑原 敏典	3学期	木	I・II		
	226304	★	教育科学特論演習(社会科教育学ⅠB)	1		桑原 敏典	4学期	木	I・II		
	226305	★	教育科学特論(社会科教育学ⅡA)	1		桑原 敏典	1学期	水	I・II		
	226306	★	教育科学特論(社会科教育学ⅡB)	1		桑原 敏典	2学期	水	I・II		
	226307	★	教育科学特論演習(社会科教育学ⅡA)	1		桑原 敏典	3学期	木	III・IV		
	226308	★	教育科学特論演習(社会科教育学ⅡB)	1		桑原 敏典	4学期	木	III・IV		
	226309	★	教育科学特論(日本史ⅠA)	1		村井 良介	1学期	火	V・VI		
	226310	★	教育科学特論(日本史ⅠB)	1		村井 良介	2学期	火	V・VI		
	226311	★	教育科学特論演習(日本史ⅠA)	1		村井 良介	1学期	木	V・VI		
	226312	★	教育科学特論演習(日本史ⅠB)	1		村井 良介	2学期	木	V・VI		
	226313	★	教育科学特論(日本史ⅡA)	1		村井 良介	3学期	火	V・VI		
	226314	★	教育科学特論(日本史ⅡB)	1		村井 良介	4学期	火	V・VI		
	226315	★	教育科学特論演習(日本史ⅡA)	1		村井 良介	3学期	木	V・VI		
	226316	★	教育科学特論演習(日本史ⅡB)	1		村井 良介	4学期	木	V・VI		
	226317	★	教育科学特論(世界史ⅠA)	1		飯田 洋介	1学期	火	V・VI		
	226318	★	教育科学特論(世界史ⅠB)	1		飯田 洋介	2学期	火	V・VI		
	226319	★	教育科学特論演習(世界史ⅠA)	1		飯田 洋介	1学期	木	VII・VIII		
	226320	★	教育科学特論演習(世界史ⅠB)	1		飯田 洋介	2学期	木	VII・VIII		
	226321	★	教育科学特論(世界史ⅡA)	1		飯田 洋介	3学期	火	VII・VIII		
	226322	★	教育科学特論(世界史ⅡB)	1		飯田 洋介	4学期	火	VII・VIII		
	226323	★	教育科学特論演習(世界史ⅡA)	1		飯田 洋介	3学期	木	VII・VIII		
	226324	★	教育科学特論演習(世界史ⅡB)	1		飯田 洋介	4学期	月	VII・VIII		
	226325			教育科学特論(人文地理学ⅠA)	1						開講予定なし
	226326			教育科学特論(人文地理学ⅠB)	1						開講予定なし
	226327			教育科学特論演習(人文地理学ⅠA)	1						開講予定なし
	226328			教育科学特論演習(人文地理学ⅠB)	1						開講予定なし
	226329			教育科学特論(人文地理学ⅡA)	1						開講予定なし
	226330			教育科学特論(人文地理学ⅡB)	1						開講予定なし
	226331			教育科学特論演習(人文地理学ⅡA)	1						開講予定なし
	226332			教育科学特論演習(人文地理学ⅡB)	1						開講予定なし
	226333			教育科学特論(自然地理学ⅠA)	1		松多 信尚				今年度は開講せず
	226334			教育科学特論(自然地理学ⅠB)	1		松多 信尚				今年度は開講せず
	226335			教育科学特論演習(自然地理学ⅠA)	1		松多 信尚				今年度は開講せず
	226336			教育科学特論演習(自然地理学ⅠB)	1		松多 信尚				今年度は開講せず
	226337			教育科学特論(自然地理学ⅡA)	1		松多 信尚				今年度は開講せず
	226338			教育科学特論(自然地理学ⅡB)	1		松多 信尚				今年度は開講せず
	226339			教育科学特論演習(自然地理学ⅡA)	1		松多 信尚				今年度は開講せず
	226340			教育科学特論演習(自然地理学ⅡB)	1		松多 信尚				今年度は開講せず
	226341	★		教育科学特論(政治学ⅠA)	1		高田 宏史	1学期	木	V・VI	
	226342	★		教育科学特論(政治学ⅠB)	1		高田 宏史	2学期	木	V・VI	
	226343	★		教育科学特論演習(政治学ⅠA)	1		高田 宏史	1学期	水	III・IV	
	226344	★		教育科学特論演習(政治学ⅠB)	1		高田 宏史	2学期	水	III・IV	
	226345	★		教育科学特論(政治学ⅡA)	1		高田 宏史	3学期	木	I・II	
	226346	★		教育科学特論(政治学ⅡB)	1		高田 宏史	4学期	木	I・II	
	226347	★		教育科学特論演習(政治学ⅡA)	1		高田 宏史	3学期	水	III・IV	
226348	★		教育科学特論演習(政治学ⅡB)	1		高田 宏史	4学期	水	III・IV		
226349	★		教育科学特論(法学ⅠA)	1		大江 洋	1学期	月	V・VI		
226350	★		教育科学特論(法学ⅠB)	1		大江 洋	2学期	月	V・VI		
226351	★		教育科学特論演習(法学ⅠA)	1		大江 洋	1学期	月	VII・VIII		
226352	★		教育科学特論演習(法学ⅠB)	1		大江 洋	2学期	月	VII・VIII		
226353	★		教育科学特論(法学ⅡA)	1		大江 洋	3学期	月	V・VI		
226354	★		教育科学特論(法学ⅡB)	1		大江 洋	4学期	月	V・VI		

※1発達支援系以外は必修。

※2発達支援系(特別支援学校教諭専修免許状申請予定者)は原則として必修としますが、それ以外の者は指導教員との相談の上決定してください。

※3講義番号はオリエンテーションで配付する「講義番号一覧」を参照してください。

## (2)教育科学専攻

科目区分	講義番号	開講	授業科目名	単位	必修	担当教員	開講区分	曜日	時限	備考	
専門科目	226355	★	教育科学特論演習(法学ⅡA)	1		大江 洋	3学期	月	VII・VIII		
	226356	★	教育科学特論演習(法学ⅡB)	1		大江 洋	4学期	月	VII・VIII		
	226357	★	教育科学特論(経済学ⅠA)	1		大熊 正哲	1学期	随時	随時		
	226358	★	教育科学特論(経済学ⅠB)	1		大熊 正哲	2学期	随時	随時		
	226359	★	教育科学特論演習(経済学ⅠA)	1		大熊 正哲	1学期	随時	随時		
	226360	★	教育科学特論演習(経済学ⅠB)	1		大熊 正哲	2学期	随時	随時		
	226361	★	教育科学特論(経済学ⅡA)	1		大熊 正哲	3学期	随時	随時		
	226362	★	教育科学特論(経済学ⅡB)	1		大熊 正哲	4学期	随時	随時		
	226363	★	教育科学特論演習(経済学ⅡA)	1		大熊 正哲	3学期	随時	随時		
	226364	★	教育科学特論演習(経済学ⅡB)	1		大熊 正哲	4学期	随時	随時		
	226365	★	教育科学特論(倫理学ⅠA)	1		宮崎 宏志	1学期	月	III・IV		
	226366	★	教育科学特論(倫理学ⅠB)	1		宮崎 宏志	2学期	月	III・IV		
	226367	★	教育科学特論(倫理学ⅡA)	1		宮崎 宏志	3学期	月	III・IV		
	226368	★	教育科学特論(倫理学ⅡB)	1		宮崎 宏志	4学期	月	III・IV		
	226401			教育科学特論(数学科教育学ⅠA)	1						開講予定なし
	226402			教育科学特論(数学科教育学ⅠB)	1						開講予定なし
	226403			教育科学特論(数学科教育学ⅡA)	1						開講予定なし
	226404			教育科学特論(数学科教育学ⅡB)	1						開講予定なし
	226405	★		教育科学特論(代数学ⅠA)	1		仲田 研登	1学期	月	V・VI	
	226406	★		教育科学特論(代数学ⅠB)	1		仲田 研登	2学期	月	V・VI	
	226407	★		教育科学特論(代数学ⅡA)	1		仲田 研登	3学期	月	V・VI	
	226408	★		教育科学特論(代数学ⅡB)	1		仲田 研登	4学期	月	V・VI	
	226409	★		教育科学特論(代数学ⅢA)	1		宮内 通孝	1学期	木	III・IV	
	226410	★		教育科学特論(代数学ⅢB)	1		宮内 通孝	2学期	木	III・IV	
	226411	★		教育科学特論(代数学ⅣA)	1		宮内 通孝	3学期	金	III・IV	
	226412	★		教育科学特論(代数学ⅣB)	1		宮内 通孝	4学期	金	III・IV	
	226413	★		教育科学特論(幾何学ⅠA)	1		中川 征樹	1学期	火	V・VI	
	226414	★		教育科学特論(幾何学ⅠB)	1		中川 征樹	2学期	火	V・VI	
	226415	★		教育科学特論(幾何学ⅡA)	1		中川 征樹	3学期	火	III・IV	
	226416	★		教育科学特論(幾何学ⅡB)	1		中川 征樹	4学期	火	III・IV	
	226417			教育科学特論(解析学ⅠA)	1						開講予定なし
	226418			教育科学特論(解析学ⅠB)	1						開講予定なし
	226419			教育科学特論(解析学ⅡA)	1						開講予定なし
	226420			教育科学特論(解析学ⅡB)	1						開講予定なし
	226421	★		教育科学特論(解析学ⅢA)	1		中村 登	1学期	金	V・VI	
	226422	★		教育科学特論(解析学ⅢB)	1		中村 登	2学期	金	V・VI	
	226423	★		教育科学特論(解析学ⅣA)	1		中村 登	3学期	木	I・II	
	226424	★		教育科学特論(解析学ⅣB)	1		中村 登	4学期	木	I・II	
	226425	★		教育科学特論演習(数学ⅠA)	1		仲田 研登	1学期	火	III・IV	
	226426	★		教育科学特論演習(数学ⅡA)	1		仲田 研登	2学期	火	III・IV	
	226427	★		教育科学特論演習(数学ⅠB)	1		宮内 通孝	3学期	木	V・VI	
	226428	★		教育科学特論演習(数学ⅡB)	1		宮内 通孝	4学期	木	V・VI	
	226429	★		教育科学特論演習(数学ⅠC)	1		中川 征樹	1学期	木	V・VI	
	226430	★		教育科学特論演習(数学ⅡC)	1		中川 征樹	2学期	木	V・VI	
	226431			教育科学特論演習(数学ⅠD)	1						開講予定なし
	226432			教育科学特論演習(数学ⅡD)	1						開講予定なし
	226433	★		教育科学特論演習(数学ⅠE)	1		中村 登	3学期	金	V・VI	
226434	★		教育科学特論演習(数学ⅡE)	1		中村 登	4学期	金	V・VI		
226501			教育科学特論(理科教育学ⅠA)	1						開講予定なし	
226502			教育科学特論(理科教育学ⅠB)	1						開講予定なし	
226503			教育科学特論(理科教育学ⅡA)	1						開講予定なし	
226504			教育科学特論(理科教育学ⅡB)	1						開講予定なし	
226505			教育科学特論演習(理科教育学A)	1						開講予定なし	
226506			教育科学特論演習(理科教育学B)	1						開講予定なし	
226507	★		教育科学特論(物理学ⅠA)	1		稲田 佳彦	1学期	月	VII・VIII	隔年開講	
226508	★		教育科学特論(物理学ⅠB)	1		稲田 佳彦	2学期	月	VII・VIII	隔年開講	
226509			教育科学特論(物理学ⅡA)	1		稲田 佳彦	通年	随時	随時	隔年開講	
226510			教育科学特論(物理学ⅡB)	1		稲田 佳彦	通年	随時	随時	隔年開講	
226511			教育科学特論演習(物理学ⅡA)	1		稲田 佳彦	通年	随時	随時	隔年開講	
226512			教育科学特論演習(物理学ⅡB)	1		稲田 佳彦	通年	随時	随時	隔年開講	
226513	★		教育科学特論(物理学ⅢA)	1		伊藤 恵司	3学期	随時	随時	隔年開講	

※1発達支援系以外は必修。

※2発達支援系(特別支援学校教諭専修免許状申請予定者)は原則として必修としますが、それ以外の者は指導教員との相談の上決定してください。

※3講義番号はオリエンテーションで配付する「講義番号一覧」を参照してください。

## (2)教育科学専攻

科目区分	講義番号	開講	授業科目名	単位	必修	担当教員	開講区分	曜日	時限	備考
専門科目	226514	★	教育科学特論(物理学ⅢB)	1		伊藤 恵司	4学期	随時	随時	隔年開講
	226515		教育科学特論(物理学ⅣA)	1		伊藤 恵司	3学期	随時	随時	隔年開講
	226516		教育科学特論(物理学ⅣB)	1		伊藤 恵司	4学期	随時	随時	隔年開講
	226517		教育科学特論演習(物理学ⅢA)	1		伊藤 恵司	通年	随時	随時	隔年開講
	226518		教育科学特論演習(物理学ⅢB)	1		伊藤 恵司	通年	随時	随時	隔年開講
	226519		教育科学特論(有機化学ⅠA)	1		石川 彰彦	3学期	随時	随時	隔年開講
	226520		教育科学特論(有機化学ⅠB)	1		石川 彰彦	4学期	随時	随時	隔年開講
	226521	★	教育科学特論(有機化学ⅡA)	1		石川 彰彦	3学期	随時	随時	隔年開講
	226522	★	教育科学特論(有機化学ⅡB)	1		石川 彰彦	4学期	随時	随時	隔年開講
	226523		教育科学特論演習(分析化学A)	1		石川 彰彦	通年	随時	随時	隔年開講
	226524		教育科学特論演習(分析化学B)	1		石川 彰彦	通年	随時	随時	隔年開講
	226525	★	教育科学特論(無機化学A)	1		喜多 雅一	1学期	火	V・VI	隔年開講
	226526	★	教育科学特論(無機化学B)	1		喜多 雅一	2学期	火	V・VI	隔年開講
	226527	★	教育科学特論演習(無機化学A)	1		喜多 雅一	通年	随時	随時	隔年開講
	226528	★	教育科学特論演習(無機化学B)	1		喜多 雅一	通年	随時	随時	隔年開講
	226529		教育科学特論(物理化学A)	1		喜多 雅一	1学期	火	V・VI	隔年開講
	226530		教育科学特論(物理化学B)	1		喜多 雅一	2学期	火	V・VI	隔年開講
	226531		教育科学特論演習(物理化学A)	1		喜多 雅一	通年	随時	随時	隔年開講
	226532		教育科学特論演習(物理化学B)	1		喜多 雅一	通年	随時	随時	隔年開講
	226533		教育科学特論(動物学ⅠA)	1		安藤 元紀	3学期	水	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講
	226534		教育科学特論(動物学ⅠB)	1		安藤 元紀	4学期	水	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講
	226535	★	教育科学特論(動物学ⅡA)	1		安藤 元紀	3学期	水	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講
	226536	★	教育科学特論(動物学ⅡB)	1		安藤 元紀	4学期	水	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講
	226537	★	教育科学特論演習(動物学A)	1		安藤 元紀	通年	随時	随時	
	226538	★	教育科学特論演習(動物学B)	1		安藤 元紀	通年	随時	随時	
	226539		教育科学特論(植物学ⅠA)	1		原田 太郎	3学期	火	V・VI	隔年開講
	226540		教育科学特論(植物学ⅠB)	1		原田 太郎	4学期	火	V・VI	隔年開講
	226541	★	教育科学特論演習(植物学A)	1		原田 太郎	通年	随時	随時	
	226542	★	教育科学特論演習(植物学B)	1		原田 太郎	通年	随時	随時	
	226543	★	教育科学特論(植物学ⅡA)	1		原田 太郎	通年	随時	随時	隔年開講
	226544	★	教育科学特論(植物学ⅡB)	1		原田 太郎	通年	随時	随時	隔年開講
	226545	★	教育科学特論(固体地球科学A)	1		宇野 康司	3学期	月	I・II	
	226546	★	教育科学特論(固体地球科学B)	1		宇野 康司	4学期	月	I・II	
	226547	★	教育科学特論演習(固体地球科学A)	1		宇野 康司	通年	随時	随時	
	226548	★	教育科学特論演習(固体地球科学B)	1		宇野 康司	通年	随時	随時	
	226549	★	教育科学特論(流体地球科学ⅠA)	1		加藤 内蔵進	3学期	木	V・VI	隔年開講
	226550	★	教育科学特論(流体地球科学ⅠB)	1		加藤 内蔵進	4学期	木	V・VI	隔年開講
	226551		教育科学特論(流体地球科学ⅡA)	1		加藤 内蔵進	3学期	木	V・VI	隔年開講
	226552		教育科学特論(流体地球科学ⅡB)	1		加藤 内蔵進	4学期	木	V・VI	隔年開講
	226553	★	教育科学特論演習(流体地球科学A)	1		加藤 内蔵進	通年	随時	随時	
226554	★	教育科学特論演習(流体地球科学B)	1		加藤 内蔵進	通年	随時	随時		
226601		教育科学特論(音楽科教育学ⅠA)	1		小川 容子	3学期	火	V・VI	隔年開講	
226602		教育科学特論(音楽科教育学ⅠB)	1		小川 容子	4学期	火	V・VI	隔年開講	
226603	★	教育科学特論(音楽科教育学ⅡA)	1		小川 容子	3学期	火	V・VI	隔年開講	
226604	★	教育科学特論(音楽科教育学ⅡB)	1		小川 容子	4学期	火	V・VI	隔年開講	
226605		教育科学特論(音楽科教育学ⅢA)	1		早川 倫子	3学期	随時	随時	隔年開講	
226606		教育科学特論(音楽科教育学ⅢB)	1		早川 倫子	4学期	随時	随時	隔年開講	
226607	★	教育科学特論(音楽科教育学ⅣA)	1		早川 倫子	3学期	随時	随時	隔年開講	
226608	★	教育科学特論(音楽科教育学ⅣB)	1		早川 倫子	4学期	随時	随時	隔年開講	
226609	★	教育科学特論(声楽ⅠA)	1		虫明 眞砂子	1学期	水	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講	
226610	★	教育科学特論(声楽ⅠB)	1		虫明 眞砂子	2学期	水	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講	
226611		教育科学特論(声楽ⅡA)	1		虫明 眞砂子	1学期	水	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講	
226612		教育科学特論(声楽ⅡB)	1		虫明 眞砂子	2学期	水	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講	
226613		教育科学特論(器楽ⅠA)	1		長岡 功	3学期	随時	随時	隔年開講	
226614		教育科学特論(器楽ⅠB)	1		長岡 功	4学期	随時	随時	隔年開講	
226615	★	教育科学特論(器楽ⅡA)	1		長岡 功	3学期	随時	随時	隔年開講	
226616	★	教育科学特論(器楽ⅡB)	1		長岡 功	4学期	随時	随時	隔年開講	
226617	★	教育科学特論(器楽ⅢA)	1		諸田 大輔	3学期	月	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講	
226618	★	教育科学特論(器楽ⅢB)	1		諸田 大輔	4学期	月	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講	
226619		教育科学特論(器楽ⅣA)	1		諸田 大輔	3学期	月	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講	
226620		教育科学特論(器楽ⅣB)	1		諸田 大輔	4学期	月	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講	

※1発達支援系以外は必修。

※2発達支援系(特別支援学校教諭専修免許状申請予定者)は原則として必修としますが、それ以外の者は指導教員との相談の上決定してください。

※3講義番号はオリエンテーションで配付する「講義番号一覧」を参照してください。



## (2) 教育科学専攻

科目区分	講義番号	開講	授業科目名	単位	必修	担当教員	開講区分	曜日	時限	備考
専門科目	226621		教育科学特論(音楽学ⅠA)	1						開講予定なし
	226622		教育科学特論(音楽学ⅠB)	1						開講予定なし
	226623		教育科学特論(音楽学ⅡA)	1						開講予定なし
	226624		教育科学特論(音楽学ⅡB)	1						開講予定なし
	226625		教育科学特論(作曲法ⅠA)	1						開講予定なし
	226626		教育科学特論(作曲法ⅠB)	1						開講予定なし
	226627		教育科学特論(作曲法ⅡA)	1						開講予定なし
	226628		教育科学特論(作曲法ⅡB)	1						開講予定なし
	226701	★	教育科学特論(美術科教育学ⅠA)	1		赤木(里)・清田	3学期	随時	随時	隔年開講
	226702	★	教育科学特論(美術科教育学ⅠB)	1		赤木(里)・清田	4学期	随時	随時	隔年開講
	226703		教育科学特論(美術科教育学ⅡA)	1		清田・赤木(里)	3学期	随時	随時	隔年開講
	226704		教育科学特論(美術科教育学ⅡB)	1		清田・赤木(里)	4学期	随時	随時	隔年開講
	226705	★	教育科学特論(美術科教育学ⅢA)	1		大橋 功	3学期	随時	随時	隔年開講
	226706	★	教育科学特論(美術科教育学ⅢB)	1		大橋 功	4学期	随時	随時	隔年開講
	226707		教育科学特論(美術科教育学ⅣA)	1		大橋 功	3学期	随時	随時	隔年開講
	226708		教育科学特論(美術科教育学ⅣB)	1		大橋 功	4学期	随時	随時	隔年開講
	226709		教育科学特論(絵画ⅠA)	1						開講予定なし
	226710		教育科学特論(絵画ⅠB)	1						開講予定なし
	226711		教育科学特論(絵画ⅡA)	1						開講予定なし
	226712		教育科学特論(絵画ⅡB)	1						開講予定なし
	226713		教育科学特論(彫刻ⅠA)	1						開講予定なし
	226714		教育科学特論(彫刻ⅠB)	1						開講予定なし
	226715		教育科学特論(彫刻ⅡA)	1						開講予定なし
	226716		教育科学特論(彫刻ⅡB)	1						開講予定なし
	226717		教育科学特論(デザインⅠA)	1						開講予定なし
	226718		教育科学特論(デザインⅠB)	1						開講予定なし
	226719		教育科学特論(デザインⅡA)	1						開講予定なし
	226720		教育科学特論(デザインⅡB)	1						開講予定なし
	226721		教育科学特論(工芸ⅠA)	1						開講予定なし
	226722		教育科学特論(工芸ⅠB)	1						開講予定なし
	226723		教育科学特論(工芸ⅡA)	1						開講予定なし
	226724		教育科学特論(工芸ⅡB)	1						開講予定なし
	226725		教育科学特論演習(工芸A)	1						開講予定なし
	226726		教育科学特論演習(工芸B)	1						開講予定なし
	226727	★	教育科学特論(平面造形ⅠA)	1		橋ヶ谷 佳正	1学期	水	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講
	226728	★	教育科学特論(平面造形ⅠB)	1		橋ヶ谷 佳正	2学期	水	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講
	226729		教育科学特論(平面造形ⅡA)	1		橋ヶ谷 佳正	1学期	水	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講
	226730		教育科学特論(平面造形ⅡB)	1		橋ヶ谷 佳正	2学期	水	Ⅲ・Ⅳ	隔年開講
	226731	★	教育科学特論(立体造形ⅠA)	1		山本 和史	1学期	火	Ⅴ・Ⅵ	隔年開講
	226732	★	教育科学特論(立体造形ⅠB)	1		山本 和史	2学期	火	Ⅴ・Ⅵ	隔年開講
	226733		教育科学特論(立体造形ⅡA)	1		山本 和史	1学期	火	Ⅴ・Ⅵ	隔年開講
	226734		教育科学特論(立体造形ⅡB)	1		山本 和史	2学期	火	Ⅴ・Ⅵ	隔年開講
	226735		教育科学特論(美術理論・美術史A)	1		赤木(里)・才士	2学期	随時	随時	隔年開講
	226736	★	教育科学特論(美術理論・美術史B)	1		赤木(里)・才士	3学期	随時	随時	隔年開講
	226801	★	教育科学特論(保健体育科教育学ⅠA)	1		原 祐一	3学期	木	Ⅰ・Ⅱ	
	226802	★	教育科学特論(保健体育科教育学ⅠB)	1		原 祐一	4学期	木	Ⅰ・Ⅱ	
	226803		教育科学特論(保健体育科教育学ⅡA)	1						開講予定なし
	226804		教育科学特論(保健体育科教育学ⅡB)	1						開講予定なし
	226805		教育科学特論(体育学A)	1						開講予定なし
	226806		教育科学特論(体育学B)	1						開講予定なし
	226807		教育科学特論演習(体育学A)	1						開講予定なし
	226808		教育科学特論演習(体育学B)	1						開講予定なし
	226809	★	教育科学特論(運動学ⅠA)	1		加賀 勝	1学期	随時	随時	
	226810	★	教育科学特論(運動学ⅠB)	1		加賀 勝	2学期	随時	随時	
	226811	★	教育科学特論演習(運動学ⅠA)	1		加賀 勝	3学期	随時	随時	
	226812	★	教育科学特論演習(運動学ⅠB)	1		加賀 勝	4学期	随時	随時	
	226813	★	教育科学特論(運動学ⅡA)	1		鈴木 久雄	1学期	火	Ⅲ・Ⅳ	
	226814	★	教育科学特論(運動学ⅡB)	1		鈴木 久雄	2学期	火	Ⅲ・Ⅳ	
	226815	★	教育科学特論演習(運動学ⅡA)	1		鈴木 久雄	3学期	火	Ⅰ・Ⅱ	
	226816	★	教育科学特論演習(運動学ⅡB)	1		鈴木 久雄	4学期	火	Ⅰ・Ⅱ	
	226817	★	教育科学特論(運動学ⅢA)	1		酒向 治子	1学期	木	Ⅴ・Ⅵ	

※1発達支援系以外は必修。

※2発達支援系(特別支援学校教諭専修免許状申請予定者)は原則として必修としますが、それ以外の者は指導教員との相談の上決定してください。

※3講義番号はオリエンテーションで配付する「講義番号一覧」を参照してください。



## (2)教育科学専攻

科目区分	講義番号	開講	授業科目名	単位	必修	担当教員	開講区分	曜日	時限	備考	
専門科目	226818	★	教育科学特論(運動学ⅢB)	1		酒向 治子	2学期	木	V・VI		
	226819	★	教育科学特論演習(運動学ⅢA)	1		酒向 治子	3学期	木	VII・VIII		
	226820	★	教育科学特論演習(運動学ⅢB)	1		酒向 治子	4学期	木	VII・VIII		
	226821	★	教育科学特論(学校保健学A)	1		足立 稔	1学期	木	I・II		
	226822	★	教育科学特論(学校保健学B)	1		足立 稔	2学期	木	I・II		
	226823		教育科学特論演習(学校保健学A)	1							開講予定なし
	226824		教育科学特論演習(学校保健学B)	1							開講予定なし
	226901	★	教育科学特論(技術科教育学ⅠA)	1		平田 晴路	1学期	水	Ⅲ・Ⅳ		
	226902	★	教育科学特論(技術科教育学ⅠB)	1		平田 晴路	2学期	水	Ⅲ・Ⅳ		
	226903	★	教育科学特論(技術科教育学ⅡA)	1		平田 晴路	3学期	水	Ⅲ・Ⅳ		
	226904	★	教育科学特論(技術科教育学ⅡB)	1		平田 晴路	4学期	水	Ⅲ・Ⅳ		
	226905		教育科学特論(技術科教育学ⅢA)	1							開講予定なし
	226906		教育科学特論(技術科教育学ⅢB)	1							開講予定なし
	226907		教育科学特論(技術科教育学ⅣA)	1							開講予定なし
	226908		教育科学特論(技術科教育学ⅣB)	1							開講予定なし
	226909		教育科学特論(木材加工ⅠA)	1							開講予定なし
	226910		教育科学特論(木材加工ⅠB)	1							開講予定なし
	226911		教育科学特論(木材加工ⅡA)	1							開講予定なし
	226912		教育科学特論(木材加工ⅡB)	1							開講予定なし
	226913	★	教育科学特論(機械ⅠA)	1		野毛 宏文	1学期	火	VII・VIII		
	226914	★	教育科学特論(機械ⅠB)	1		野毛 宏文	2学期	火	VII・VIII		
	226915	★	教育科学特論(機械ⅡA)	1		野毛 宏文	3学期	火	VII・VIII		
	226916	★	教育科学特論(機械ⅡB)	1		野毛 宏文	4学期	火	VII・VIII		
	226917	★	教育科学特論(電気ⅠA)	1		入江 隆	1学期	火	V・VI		
	226918	★	教育科学特論(電気ⅠB)	1		入江 隆	2学期	火	V・VI		
	226919	★	教育科学特論(電気ⅡA)	1		入江 隆	3学期	火	V・VI		
	226920	★	教育科学特論(電気ⅡB)	1		入江 隆	4学期	火	V・VI		
	226921	★	教育科学特論(情報ⅠA)	1		笠井 俊信	1学期	木	V・VI		
	226922	★	教育科学特論(情報ⅠB)	1		笠井 俊信	2学期	木	V・VI		
	226923	★	教育科学特論(情報ⅡA)	1		笠井 俊信	3学期	木	V・VI		
	226924	★	教育科学特論(情報ⅡB)	1		笠井 俊信	4学期	木	V・VI		
	227001	★	教育科学特論(家庭科教育学ⅠA)	1		佐藤 園	3学期	火	Ⅲ・Ⅳ		
	227002	★	教育科学特論(家庭科教育学ⅠB)	1		佐藤 園	4学期	火	Ⅲ・Ⅳ		
	227003		教育科学特論(家庭科教育学ⅡA)	1							開講予定なし
	227004		教育科学特論(家庭科教育学ⅡB)	1							開講予定なし
	227005	★	教育科学特論(家庭経営学A)	1		李 璟媛	3学期	随時	随時		
	227006	★	教育科学特論(家庭経営学B)	1		李 璟媛	4学期	随時	随時		
	227007	★	教育科学特論(家族関係学ⅠA)	1		李 璟媛	1学期	月	V・VI		
	227008	★	教育科学特論(家族関係学ⅠB)	1		李 璟媛	2学期	月	V・VI		
	227009	★	教育科学特論(家族関係学ⅡA)	1		李 璟媛	3学期	火	V・VI		
	227010	★	教育科学特論(家族関係学ⅡB)	1		李 璟媛	4学期	火	V・VI		
	227011	★	教育科学特論(食物科学ⅠA)	1		河田 哲典	1学期	木	V・VI		
	227012	★	教育科学特論(食物科学ⅠB)	1		河田 哲典	2学期	木	V・VI		
	227013	★	教育科学特論(食物科学ⅡA)	1		河田 哲典	3学期	木	Ⅲ・Ⅳ		
	227014	★	教育科学特論(食物科学ⅡB)	1		河田 哲典	4学期	木	Ⅲ・Ⅳ		
227015	★	教育科学特論(食物科学ⅢA)	1		河田 哲典	1学期	火	I・II	2年次のみ履修可		
227016	★	教育科学特論(食物科学ⅢB)	1		河田 哲典	2学期	火	I・II	2年次のみ履修可		
227017	★	教育科学特論(食物科学ⅣA)	1		河田 哲典	3学期	金	VII・VIII			
227018	★	教育科学特論(食物科学ⅣB)	1		河田 哲典	4学期	金	VII・VIII			
227019	★	教育科学特論実験(食物科学A)	1		河田 哲典	1学期	金	Ⅲ・Ⅳ・V・VI			
227020	★	教育科学特論実験(食物科学B)	1		河田 哲典	2学期	金	Ⅲ・Ⅳ・V・VI			
227021	★	教育科学特論(被服科学ⅠA)	1		篠原 陽子	1学期	金	Ⅲ・Ⅳ			
227022	★	教育科学特論(被服科学ⅠB)	1		篠原 陽子	2学期	金	Ⅲ・Ⅳ			
227023	★	教育科学特論(被服科学ⅡA)	1		篠原 陽子	3学期	金	Ⅲ・Ⅳ			
227024	★	教育科学特論(被服科学ⅡB)	1		篠原 陽子	4学期	金	Ⅲ・Ⅳ			
227025	★	教育科学特論実験(被服科学A)	1		篠原 陽子	3学期	木	V・VI・VII・VIII			
227026	★	教育科学特論実験(被服科学B)	1		篠原 陽子	4学期	木	V・VI・VII・VIII			
227027		教育科学特論(住居学ⅠA)	1							開講予定なし	
227028		教育科学特論(住居学ⅠB)	1							開講予定なし	
227029		教育科学特論(住居学ⅡA)	1							開講予定なし	
227030		教育科学特論(住居学ⅡB)	1							開講予定なし	

※1発達支援系以外は必修。

※2発達支援系(特別支援学校教諭専修免許状申請予定者)は原則として必修としますが、それ以外の者は指導教員との相談の上決定してください。

※3講義番号はオリエンテーションで配付する「講義番号一覧」を参照してください。

## (2) 教育科学専攻

科目区分	講義番号	開講	授業科目名	単位	必修	担当教員	開講区分	曜日	時限	備考
専門科目	227101	★	教育科学特論(英語科教育学ⅠA)	1		小山 尚史	1学期	月	V・VI	
	227102	★	教育科学特論(英語科教育学ⅠB)	1		小山 尚史	2学期	金	V・VI	
	227103	★	教育科学特論(英語科教育学ⅡA)	1		小山 尚史	3学期	月	V・VI	
	227104	★	教育科学特論(英語科教育学ⅡB)	1		小山 尚史	4学期	月	V・VI	
	227105	★	教育科学特論(英語学ⅠA)	1		脇本 恭子	1学期	木	VII・VIII	
	227106	★	教育科学特論(英語学ⅠB)	1		脇本 恭子	2学期	木	VII・VIII	
	227107	★	教育科学特論(英語学ⅡA)	1		脇本 恭子	3学期	火	V・VI	
	227108	★	教育科学特論(英語学ⅡB)	1		脇本 恭子	4学期	火	V・VI	
	227109		教育科学特論(英語学ⅢA)	1						開講予定なし
	227110		教育科学特論(英語学ⅢB)	1						開講予定なし
	227111		教育科学特論(英語学ⅣA)	1						開講予定なし
	227112		教育科学特論(英語学ⅣB)	1						開講予定なし
	227113		教育科学特論(英語コミュニケーションⅠA)	1						開講予定なし
	227114		教育科学特論(英語コミュニケーションⅠB)	1						開講予定なし
	227115		教育科学特論(英語コミュニケーションⅡA)	1						開講予定なし
	227116		教育科学特論(英語コミュニケーションⅡB)	1						開講予定なし
	227117	★	教育科学特論(英米文学ⅠA)	1		岡田 和也	1学期	木	V・VI	
	227118	★	教育科学特論(英米文学ⅠB)	1		岡田 和也	2学期	木	V・VI	
	227119	★	教育科学特論(英米文学ⅡA)	1		岡田 和也	3学期	木	V・VI	
	227120	★	教育科学特論(英米文学ⅡB)	1		岡田 和也	4学期	木	V・VI	
	227201	★	PBL特論Ⅰ	1		清田・飯田・稲田・笠井・木村・桑原 ほか	1学期	金	V・VI	1年次のみ履修可
	227202	★	PBL特論Ⅱ	1		清田・飯田・稲田・笠井・木村・桑原 ほか	2学期	随時	随時	1年次のみ履修可
	227203	★	PBL特論Ⅲ	1		清田・飯田・稲田・笠井・木村・桑原 ほか	3学期	随時	随時	1年次のみ履修可
	227204	★	PBL特論Ⅳ	1		清田・飯田・稲田・笠井・木村・桑原 ほか	4学期	随時	随時	1年次のみ履修可
	227205	★	PBL特論Ⅴ	1		清田・飯田・稲田・笠井・木村・桑原 ほか	1学期	随時	随時	2年次のみ履修可
	227206	★	PBL特論Ⅵ	1		清田・飯田・稲田・笠井・木村・桑原 ほか	2学期	随時	随時	2年次のみ履修可
	227207	★	PBL特論Ⅶ	1		清田・飯田・稲田・笠井・木村・桑原 ほか	3学期	随時	随時	2年次のみ履修可
	227208	★	PBL特論Ⅷ	1		清田・飯田・稲田・笠井・木村・桑原 ほか	4学期	随時	随時	1・2年次のみ履修可
	227301		保育内容特論(造形表現A)	1		高橋 敏之	3学期	木	VII・VIII	隔年開講
	227302		保育内容特論(造形表現B)	1		高橋 敏之	4学期	木	VII・VIII	隔年開講
	227303	★	保育内容特論演習(造形表現A)	1		高橋 敏之	3学期	木	VII・VIII	隔年開講
	227304	★	保育内容特論演習(造形表現B)	1		高橋 敏之	4学期	木	VII・VIII	隔年開講
	227305	★	保育内容特論(健康A)	1		梶谷 信之	1学期	木	V・VI	隔年開講
	227306	★	保育内容特論(健康B)	1		梶谷 信之	2学期	木	V・VI	隔年開講
	227307		保育内容特論演習(健康A)	1		梶谷 信之	1学期	木	V・VI	隔年開講
	227308		保育内容特論演習(健康B)	1		梶谷 信之	2学期	木	V・VI	隔年開講
	227309	★	保育内容特論(人間関係A)	1		西山 修	3学期	金	V・VI	隔年開講
	227310	★	保育内容特論(人間関係B)	1		西山 修	4学期	金	V・VI	隔年開講
	227311		保育内容特論演習(人間関係A)	1		西山 修	3学期	金	V・VI	隔年開講
	227312		保育内容特論演習(人間関係B)	1		西山 修	4学期	金	V・VI	隔年開講
	227313	★	幼児教育学特論A	1		横松 友義	1学期	火	VII・VIII	隔年開講
	227314	★	幼児教育学特論B	1		横松 友義	2学期	火	VII・VIII	隔年開講
	227315		幼児教育学特論演習A	1		横松 友義	3学期	金	VII・VIII	隔年開講
227316		幼児教育学特論演習B	1		横松 友義	4学期	金	VII・VIII	隔年開講	
227317		幼児心理学特論A	1		片山 美香	1学期	金	V・VI	隔年開講	
227318		幼児心理学特論B	1		片山 美香	2学期	金	V・VI	隔年開講	
227319	★	幼児心理学特論演習A	1		片山 美香	1学期	金	V・VI	隔年開講	
227320	★	幼児心理学特論演習B	1		片山 美香	2学期	金	V・VI	隔年開講	
227401	★	特別支援教育学演習A	1		吉利 宗久	3学期	木	III・IV		
227402	★	特別支援教育学演習B	1		吉利 宗久	4学期	木	III・IV		
227403		特別支援実践学演習A	1		大竹 喜久	3学期	火	III・IV	隔年開講	
227404		特別支援実践学演習B	1		大竹 喜久	4学期	火	III・IV	隔年開講	
227405		特別支援授業論特論A	1		大竹 喜久	3学期	火	V・VI	隔年開講	
227406		特別支援授業論特論B	1		大竹 喜久	4学期	火	V・VI	隔年開講	
227407	★	特別支援心理学特論A	1		丹治 敬之	1学期	月	V・VI		
227408	★	特別支援心理学特論B	1		丹治 敬之	2学期	月	V・VI		
227409	★	特別支援心理学演習A	1		丹治 敬之	3学期	月	V・VI		
227410	★	特別支援心理学演習B	1		丹治 敬之	4学期	月	V・VI		
227411	★	特別支援病理学特論A	1		大守 伊織	1学期	木	I・II		
227412	★	特別支援病理学特論B	1		大守 伊織	2学期	木	I・II		
227413	★	特別支援病理学演習A	1		大守 伊織	3学期	木	I・II		

※1発達支援系以外は必修。

※2発達支援系(特別支援学校教諭専修免許状申請予定者)は原則として必修としますが、それ以外の者は指導教員との相談の上決定してください。

※3講義番号はオリエンテーションで配付する「講義番号一覧」を参照してください。

## (2)教育科学専攻

科目区分	講義番号	開講	授業科目名	単位	必修	担当教員	開講区分	曜日	時限	備考
専門科目	227414	★	特別支援病理学演習B	1		大守 伊織	4学期	木	I・II	
	227415	★	特別支援教育臨床特論A	1		佐藤 暁	1学期	月	I・II	
	227416	★	特別支援教育臨床特論B	1		佐藤 暁	2学期	月	I・II	
	227417	★	特別支援教育総合演習A	1		佐藤(暁)・大竹・吉利・丹治・大守	1学期	火	V・VI	通年4単位 2学期火曜 V・VI限に続く
	227418	★	特別支援教育総合演習B	1		佐藤(暁)・大竹・吉利・丹治・大守	2学期	火	V・VI	通年4単位 3学期水曜 V・VI限に続く
	227419	★	特別支援教育総合演習C	1		佐藤(暁)・大竹・吉利・丹治・大守	3学期	水	V・VI	通年4単位 4学期水曜 V・VI限に続く
	227420	★	特別支援教育総合演習D	1		佐藤(暁)・大竹・吉利・丹治・大守	4学期	水	V・VI	通年4単位
	227501	★	養護実践学特論(養護教諭論A)	1		上村 弘子	1学期	金	VII・VIII	
	227502	★	養護実践学特論(養護教諭論B)	1		上村 弘子	2学期	金	V・VI	
	227503	★	養護実践学特論演習(養護教諭論A)	1		上村 弘子	3学期	金	V・VI	
	227504	★	養護実践学特論演習(養護教諭論B)	1		上村 弘子	4学期	金	V・VI	
	227505		養護実践学特論(養護実践論A)	1						開講予定なし
	227506		養護実践学特論(養護実践論B)	1						開講予定なし
	227507		養護実践学特論演習(養護実践論A)	1						開講予定なし
	227508		養護実践学特論演習(養護実践論B)	1						開講予定なし
	227509	★	養護実践学特論(学校保健学A)	1		山内 愛	1学期	木	I・II	
	227510	★	養護実践学特論(学校保健学B)	1		山内 愛	2学期	木	I・II	
	227511	★	養護実践学特論演習(学校保健学A)	1		山内 愛	3学期	木	I・II	
	227512	★	養護実践学特論演習(学校保健学B)	1		山内 愛	4学期	木	I・II	
	227513		養護実践学特論(健康教育A)	1						開講予定なし
	227514		養護実践学特論(健康教育B)	1						開講予定なし
	227515		養護実践学特論演習(健康教育A)	1						開講予定なし
	227516		養護実践学特論演習(健康教育B)	1						開講予定なし
	227517	★	学校保健医科学特論(健康科学A)	1		津島 愛子	1学期	金	I・II	
	227518	★	学校保健医科学特論(健康科学B)	1		津島 愛子	2学期	金	I・II	
	227519	★	学校保健医科学特論演習(健康科学A)	1		津島 愛子	3学期	木	I・II	
	227520	★	学校保健医科学特論演習(健康科学B)	1		津島 愛子	4学期	木	I・II	
	227521	★	学校保健医科学特論(環境と健康A)	1		伊藤 武彦	3学期	木	V・VI	
	227522	★	学校保健医科学特論(環境と健康B)	1		伊藤 武彦	4学期	木	V・VI	
	227523	★	学校保健医科学特論演習(環境と健康A)	1		伊藤 武彦	3学期	木	VII・VIII	
	227524	★	学校保健医科学特論演習(環境と健康B)	1		伊藤 武彦	4学期	木	VII・VIII	
	227525		学校保健医科学特論(小児保健A)	1						開講予定なし
227526		学校保健医科学特論(小児保健B)	1						開講予定なし	
227527		学校保健医科学特論演習(小児保健A)	1						開講予定なし	
227528		学校保健医科学特論演習(小児保健B)	1						開講予定なし	
227529		学校保健医科学特論(学校看護学A)	1						開講予定なし	
227530		学校保健医科学特論(学校看護学B)	1						開講予定なし	
227531		学校保健医科学特論演習(学校看護学A)	1						開講予定なし	
227532		学校保健医科学特論演習(学校看護学B)	1						開講予定なし	
課題研究		★	教育科学課題研究	4	●必修※3	指導教員	通年	随時	随時	

※1発達支援系以外は必修。

※2発達支援系(特別支援学校教諭専修免許状申請予定者)は原則として必修としますが、それ以外の者は指導教員との相談の上決定してください。

※3講義番号はオリエンテーションで配付する「講義番号一覧」を参照してください。